

「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

# R5年度Co-eプロジェクト 報告書

令和6年3月  
愛媛県中予地方局

# 目次

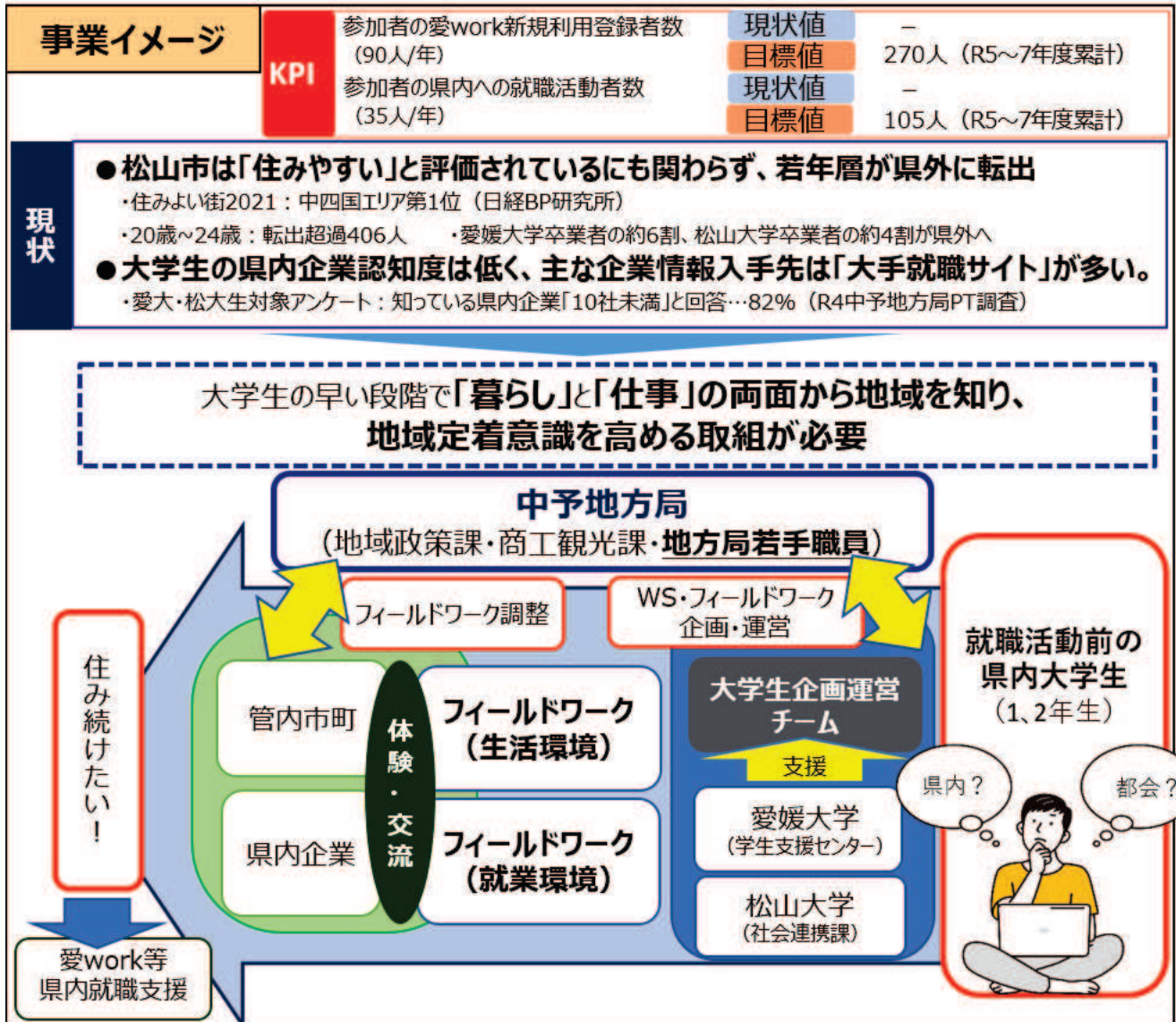
- Co-eプロジェクトの概要・・・P1
- R5年度ワークショップ開催状況・・・P6
- R5年度フィールドワーク開催状況
  - (1) 暮らしのフィールドワーク・・・P10
  - (2) 仕事のフィールドワーク・・・P22
- R5年度大学生アンケート集計結果
  - (1) ワークショップ・・・P26
  - (2) 暮らしのフィールドワーク・・・P31
  - (3) 仕事のフィールドワーク・・・P40



## Co-e プロジェクト（「豊かな中予暮らし」体験・交流事業）の概要

### 1 目的

就職活動をスタートする前の中予管内の大学生に対し、県内企業を知る機会を提供するとともに、地域の魅力を体感してもらうことにより、県内就職を促進し、若者の県内定着を図る。



### 2 事業期間

令和5年度～令和7年度

### 3 事業内容

中予管内の大学生に対し、県内企業を知る機会の提供や、地域の魅力を体感してもらう「地域の魅力発見ワークショップ」、「地域の豊かな暮らしフィールドワーク」など、各種取組みを実施した。

#### (1) 地域の魅力発見ワークショップ

地域の豊かな暮らしフィールドワークの効果を高めるため、学生が県内企業と地域の魅力を学び、将来、中予地域での生活がイメージできるワークショップを開催した。

	第1回ワークショップ	第2回ワークショップ	第3回ワークショップ
日時	R5. 6. 10 (土) 13:00~16:00	R5. 7. 22 (土) 13:00~16:30	R6. 3. 18 (月) 10:00~11:30
場所	愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B 1階CRI -1	松山大学樋又キャンパ ス 2階H2A教室	中予地方局 7階大会議室
参加数	30名(申込者39名)	14名(申込者17名)	18名
テーマ	働く意味(「働くことで得られるもの」「なぜ働くのか」)働く意義と価値観・キャリア形成について考える	「価値観」に基づく「仕事」「暮らし」「人生」を実践・実現するには	今年度を振り返り、来年度の活動を考える
内容	社会人との意見交換やNPO法人ワークライフコラボ代表理事の堀田さんの講義によって、将来の仕事と暮らしに関する理解を深め、自分が大切にしたい価値観を明らかにする。	NPO法人ワークライフコラボ代表理事の堀田さんの講義や各市町のポスターセッションを聞き、自分の価値観に合う仕事と暮らしがどの市町で実現できるか考える。	今年度事業の振り返りと、来年度に向けた学生・PT・中予地方局政策形成アドバイザー間での意見交換を行う。

## (2) 地域の豊かな暮らしフィールドワーク

学生が中予地域で就職し、充実した暮らしがイメージできるよう、地域の魅力や地元企業を知る体験・交流機会として、「暮らし」及び「仕事」に関するフィールドワークを開催した。

### ① 暮らしのフィールドワーク

市町名	松山市	砥部町	伊予市
日時	R5. 10. 29 (日) 9:00~16:30	R5. 11. 5 (日) 8:00~16:30	R5. 11. 18 (土) 11:15~17:15
場所	松山市久谷地区	砥部町広田・宮内地区	伊予市双海地区
参加者数	8名(申込者10名)	7名(申込者10名)	2名(申込者3名)
テーマ	遍路とおもてなしの里久谷地区を巡ろう in 松山	“文化とこころがふれあうまち”を体験しよう in 砥部	双海暮らしとアシトのアシアトツアー in 伊予
内容	国指定重要文化財「渡部家住宅」で開催される秋のフェスタに参加	広田ふるさとフェスタ出店応援及び砥部焼まつりに参加 等	JR下灘駅から望むロケーションを楽しんだ後、地域おこし協力隊との交流 等

市町名	東温市	久万高原町	松前町
日 時	R5. 11. 19 (日) 11:45~18:40	R5. 12. 3 (日) 8:15~16:30	R6. 1. 12 (金) 9:30~16:00
場 所	東温市河之内 他	久万高原町菅生 他	松前町中川原地区
参加者数	6名(申込者8名)	12名(申込者13名)	10名(申込者12名)
テーマ	魅力あふれる自然と文化を満喫しよう in 東温	文化と自然を満喫しよう in 久万高原	中予再発見! ~まさきからオシャレを発信~ in 松前
内 容	白猪の滝を散策後、ドライフラワーづくりや地域おこし協力隊との交流 等	久万美術館で美術鑑賞した後、ゆりラボ職員や移住者と交流し、久万高原ふるさと旅行村で自然を体感 等	まんまイチゴ園で軽農作業・イチゴ狩りをした後、ひよこたん池公園でおしゃれ写真を撮影 等

## ② 仕事のフィールドワーク

イベント名	業界マップづくり	社長さんとの de 愛イベント
日 時	R5. 7. 8 (土) 13:00~17:00	R5. 9. 2 (土) 13:00~17:00
場 所	松山大学樋又キャンパス	松山大学樋又キャンパス
参加数	11名(申込者16名)	15名(申込者20名)
内 容	スマホで県内企業を調べ「オンラインワンな愛媛の業界地図」を作成	県内企業の社長とリラックスした雰囲気の中で交流し、就活サイト等では伝わりきらない社長の想いや将来ビジョンなどに触れる
参加企業	—	(株)イープレス、キスケ(株)、ジャスティン(株)、(株)一六、愛媛製紙(株)、(株)テックアイエス

イベント名	企業探検隊	ロールモデルカフェ
日 時	R5. 9. 13 (水) 10:00~18:00	[愛媛大学] 14:30~16:00 R5. 10. 16 (月)、23 (月)、30 (月) [松山大学] 14:15~15:45 R5. 10. 18 (水)、25 (水)、11. 1 (水)
場 所	愛媛大学ひめテラス	愛媛大学ひめテラス/松山大学樋又キャンパス
参加者数	16名(申込者24名)	延べ12名(申込者11名)
内 容	インターンシップとは異なる企業訪問(体験)を通じて県内企業の強みや魅力を知る	比較的年齢の近い先輩(ロールモデル)との対話から、仕事に対する価値観や将来像をイメージする
参加企業	(株)イープレス、キスケ(株)、サイボウズ(株)、山陽物産(株)、南海放送(株)	(株)プラトン、佐川印刷(株)、(株)宇和島プロジェクト、(株)マルヤス、サイボウズ(株)、(株)アイサイト

#### 4 K P I 達成状況

「参加者の愛 work 新規利用登録者数」、「参加者の県内への就職活動者数」を K P I として設定し、各成果目標の達成に向け、効率的・効果的に事業を実施する。

##### (1) 参加者の愛 work 新規利用登録者数

	R5 年度	R6 年度	R7 年度
時点・期間	R5～R5 年度 (3月8日時点)	R5～R6 年度	R5～R7 年度
目 標 値	90 人	180 人	270 人
実 績 値	36 人	人	人

##### (2) 参加者の県内への就職活動者数(※ストック(累計)で評価)

	R5 年度	R6 年度	R7 年度
時点・期間	R5～R5 年度 (11月末時点)	R5～R6 年度	R5～R7 年度
目 標 値	0 人	35 人	105 人
実 績 値	人	人	人

「豊かな中予暮らし」体験・交流事業  
R5年度Co-eプロジェクト

1 プロジェクトについて

○プロジェクト名

Co-eプロジェクト(通称:こえぷろ)

～共に(Co-)愛媛(Ehime)の未来を創るプロジェクト～

○プロジェクトの概要

大学生の中でも、まだ「未体験の愛媛」が多い低学年の学生を対象に、生活に身近な中予地域で、暮らしや文化などの様々な体験や、活力ある県内企業等との交流機会を設け、聞こえてくる「声(こえ)」から、愛媛に住み続ける魅力や価値を再認識してもらい、学生と地域や企業が、共に(Co-)愛媛(Ehime)の未来を創るプロジェクト。

○ロゴマーク

中予の元気創造プロジェクトチームにより作成。



2 プロジェクト推進体制

【プロジェクトチームリーダー】

【ライフチーム班】

【伊予市・砥部町チーム】PTメンバー6名

【東温市・久万高原町チーム】PTメンバー5名

【松前町チーム】PTメンバー4名

【大学生】

○愛媛大学

- ・法文学部：1名
- ・社会共創学部：2名
- ・理学部：3名
- ・工学部：1名
- ・農学部：2名

○松山大学

- ・経済学部：2名
- ・経営学部：1名
- ・人文学部：1名

【ジョブチーム班】

【業界マップチーム】4名

【de愛イベントチーム】2名

【企業探検隊チーム】3名

【ロールモデルカフェチーム】4名

【大学生】

○愛媛大学

- ・法文学部：3名
- ・社会共創学部：2名
- ・農学部：2名

○松山大学

- ・経済学部：3名
- ・経営学部：3名



# 目的

「自分の興味・関心を将来の仕事と暮らしに結び付ける」をテーマに、学生が主体的にキャリア形成や多様な価値観について考える機会を設け、自身の価値観や働く意味を明らかにし、愛媛県(中予地域)内での仕事と暮らしをモデルに、ワークライフバランスの実現方法を実践的に学ぶ

## 第1回 WS

# 学生自身のキャリアに関する価値観が見える化 ～働く意義と価値観・キャリア形成を考える～

日時 R5.6.10(土)13:00～16:00 参加者 21名

## プログラム内容(メイン)

### ②ガイダンス

「何のために働くのか」という難題を解くためのヒントを教えてくださいました！

### ①中予地方局長による あいさつ

愛媛の農林水産業やスゴ技企業など愛媛の仕事の魅力を紹介！



### ③ワールドカフェ

「働く意味(「働くことで得られるもの」「なぜ働くのか」)を考える”



### 【目標】

- ①学生自身がキャリア形成のプロセスを理解
- ②仕事・暮らしに関する多様な価値観を認識

学生グループが、社会人として活躍されているゲスト(ビジネスパーソン、起業家、公務員)を訪れて意見交換！



### ④NPO法人ワークライフ・ラボ 代表理事 堀田 真奈氏による 講義「働く意義と価値観・キャリア形成について考える”

6回の転職やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、大学生が、将来キャリアを積み上げていくベースになるお話をしていただきました！



### ⑤グループワーク 「価値観の見える化(文章化)」

各グループの「価値観リスト」を共有し、一人ひとりが暮らしや仕事で自分が大事にしたい価値観を言葉にして可視化しました！



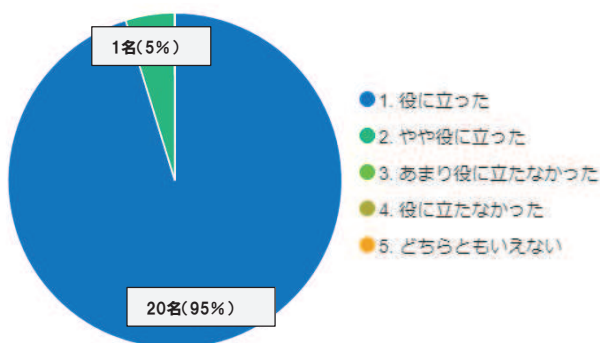


# Comment

- ・ 普段関わることのないフォトライターの方や企業の方と一緒にグループワークをすることで大学生からは出てこないような意見を聞く事ができてよかった。
- ・ 多種多様な人と活発な話ができよかった。
- ・ とてもためになるワークショップだったと思う。
- ・ 自分の価値観をより深く知ることができてよかった。
- ・ 多くの人と話す機会があり、そこがなによりもよかった！
- ・ 社会人と学生が隣に座って話せる環境はとてもありがたい。
- ・ 新しい発見ができたり、自分の持つ価値観について気づくことが出来たりするきっかけになりよかった。

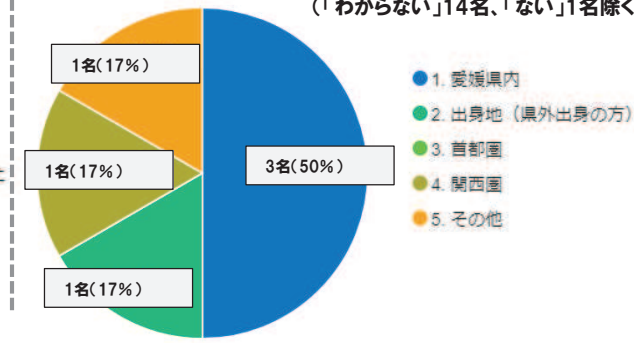
# アンケート結果 results

Q.フィールドワークは役に立った？



Q.卒業後はどの地域で働きたい？

(「わからない」14名、「ない」1名除く)



## 協力交流先

### > コーディネーター

愛媛大学 教育・学生支援機構 講師 阿部 光伸 様

### > 講師・ファシリテーター

NPO法人ワークライフ・コラボ 代表理事 堀田 真奈 様  
事業コーディネーター 高橋 浩子 様



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

### > ゲスト

愛媛トヨタ自動車株式会社	和泉 智子 様
株式会社井関松山製造所	伊藤 悟志 様
サイボウズ株式会社	伊藤 佑介 様
株式会社日本エイジェント	豊川 真実 様
株式会社あわしま堂	松野 祐介 様
愛媛銀行愛媛県庁支店	大澤 智之 様
フォトライター	高橋 陽子 様
愛媛県総務部人事課人材マネジメント室	長谷 智 様
愛媛県保健福祉部保健福祉課	神川 萌子 様
愛媛県中予地方局地域政策課	井口 貴博 様

# 目的

「自分の興味・関心を将来の仕事と暮らしに結び付ける」をテーマに、学生が主体的にキャリア形成や多様な価値観について考える機会を設け、自身の価値観や働く意味を明らかにし、愛媛県(中予地域)内での仕事と暮らしをモデルに、ワークライフバランスの実現方法を実践的に学ぶ

## 第2回 WS

### 愛媛県(中予地域)をモデルに、自分が目指す キャリアを実現できるか考えてみる

日時 R5.7.22(土)13:00~16:30 参加者 14名

# プログラム内容(メイン)

### ①開会・ガイダンス

第1回WSのグループワークで作成した  
価値観リスト集計結果を参加者で共有。



②NPO法人 ワークライフ・コラボ  
代表理事 堀田 真奈 氏による  
講義  
“「価値観」に基づく「仕事」「暮らし」「人生」を実践・実現するには”

ワークライフバランスを実現するためには、まず自己理解をすることが重要と教えていただきました！



### 【目標】

- ①地域を知り、その特徴と魅力を発見・発掘
- ②自分自身が重視する価値観と地域の特徴・魅力のマッチング



### ③管内6市町職員との ポスターセッション

管内6市町の担当者から、直接各市町の魅力や地域の暮らしのリアルな部分をおうかがいし、学生自身が自分の価値観に合った市町・業界の魅力をピックアップしました！



### ⑤まとめ・講評

どの市町で自分の価値観に合う暮らしができそうか、価値観リストに当てはめ、一人ひとりの価値観マトリクスを完成！

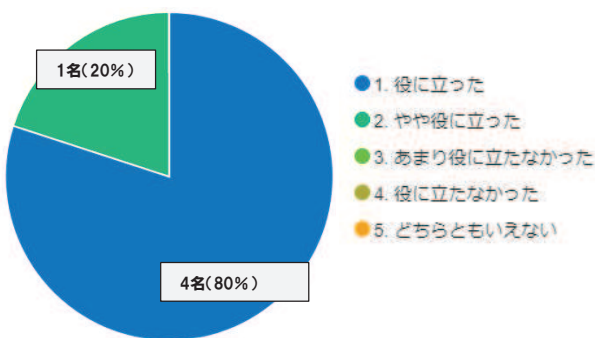


# Comment

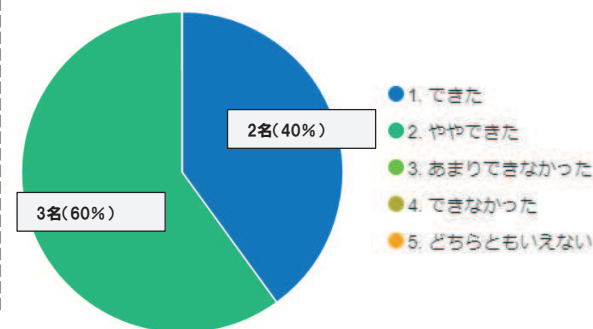
- ・ 市町のポスターセッションを聞いて、県外の出身で新しく知ることが多かった。
- ・ 参加したことで、愛媛の魅力がたくさん知ることができた。
- ・ 素敵な場所が沢山あると初めて知ることができ、他の人にも伝えたいと感じた。
- ・ 各市町に色々な魅力があることが分かった。
- ・ 6つ市町の話聞いて、どこも自然豊かという共通点があった。どこも自分にとって住みやすそう聞いてて楽しかった。
- ・ ポスターセッションでは愛媛県の中予の市町について初めて知ることが多くあった。

# アンケート結果 results

Q.フィールドワークは役に立った？



Q.ワークショップを通して、愛媛県への興味が深まった？



## 協力交流先

### > コーディネーター

愛媛大学 教育・学生支援機構 講師 阿部 光伸 様

### > 講師

NPO法人ワークライフ・コラボ 代表理事 堀田 真奈 様



### > 市町担当者

松山市	まちづくり推進課	矢野 幸平	様
伊予市	企画政策課	向井 英樹	様
東温市	地域活力創出課	氏部 直人	様
	企画政策課	八木 小百合	様
久万高原町	総務課秘書政策班	丸山 健太	様
		白石 充	様
	観光協会	矢野 豪	様
松前町	総務課	友田 秀樹	様
		古川 栄一	様
砥部町	企画政策課	中川 正志	様



# 目的

『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想のサブセンターゾーンの一つであり、豊かな自然や遍路遺跡が残る久谷地区を大学生に体験してもらおうことで、松山市の多様な地域特性を理解してもらい、地元への愛着を高める。

松山市  
City

## 遍路とおもてなしの里 久谷地区を巡ろう

・日時 R5.10.29 (日)  
Date and Time 9:00~16:30

・参加費  
無料 (昼食代等は参加者負担)

・参加人数  
9名 Number of participants

## プログラム内容 Contents

①松山大学へ集合



②園児たちのお遊戯会を見学

③トックトックに乗車し、久谷の風景を堪能



④南海放送からの取材



⑤国の重要文化財「渡部家住宅」の説明を拝聴

⑥まちづくり協議会の方から久谷地区の歴史、文化のお話を伺い、意見交換



⑦山口霊神で日本三大狸の中の一匹である隠神刑部(いぬがみぎょうぶ)の伝説を説明していただく



⑨四国八十八カ所「八坂寺」を散策



⑧四国八十八カ所「浄瑠璃寺」を散策



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

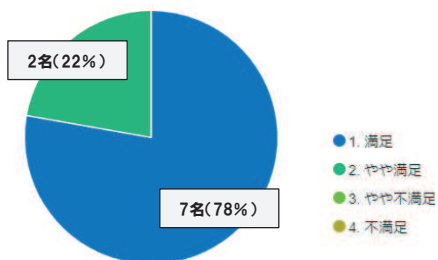


# 参加者コメント

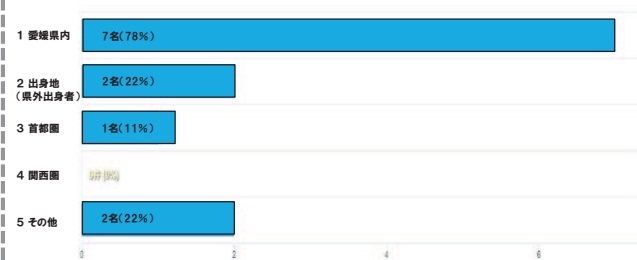
- ・地元のまちづくり協議会の方、子供たち、松山市が協力して盛り立てようとしているのがとても良いなと思いました。
- ・歴史がパンフレットにあるだけではなく、ボランティアの方や市の方が実際に話して下さることでより頭に入りやすかったです。托鉢を叩き割った男や隠神刑部狸の伝承が受け継がれているのが良いなと思い、私も地元の文化や伝承を次に伝えたいと思いました。
- ・久谷地区を訪れてみて、いいなと思ったところは特に二つあります。一つは、地域の人たちのつながりがあり、温かいところです。フェスティバルに参加して、子どもたちが出し物をして、それをみんなが温かく見ている様子が、とてもいいなと思いました。もう一つは、耕作放棄地にコスモスを植える活動をしているところです。子どもたちと一緒に種まきをしていて、自然を大切にすることを意識してもらいたいという理由もあるということを知り、とてもいい活動だなと思いました。

## アンケート結果 results

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.卒業後はどの地域で働きたい？（複数回答可）



### 協力交流先及び市町担当者紹介

- |               |    |         |
|---------------|----|---------|
| ・渡部家住宅        | 当主 | 渡部 浩三 様 |
| ・久谷地区まちづくり協議会 | 会長 | 野中 昭秀 様 |
| ・松山市 まちづくり推進課 | 主幹 | 矢野 幸平 様 |
| 企画戦略課         | 主任 | 津田 和俊 様 |



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



# 目的

豊かな自然に囲まれた双海地域で、人気サッカー漫画「アオアシ」の主人公アシトの足跡を感じる「下灘駅をはじめとする集客のあるスポットを巡るとともに、同世代の若者が語る「双海暮らし」や活動報告を聞くことで、大学生にとってリアルな双海暮らしの姿が見えてくる。

伊予市  
City

## 「愛ある伊予灘線を翔る」 双海暮らしとアシトのアシアツアー

・日時 R5.11.18(土)  
Date 11:15~17:15

・参加費  
無料 (昼食代等は参加者負担)

・参加人数  
2名 (Number of participants)

## プログラム内容

①JR松山駅に集合  
大風の影響により、運休となり、自家用車で出発



③キャッチフレーズは「しずむ夕日が立ちどまるまち」



②下灘駅に到着  
青空が広がり  
綺麗な景色を堪能



④喫茶ポパイで人気の「中華そば」と「鉄板ナポリタン」を注文



⑥地域おこし協力隊の上田隊員との意見交換会



⑤海を一望しながら  
昼食を満喫



⑦隊員の祖父母が始めた  
お店を復活させるまでの  
経緯を伺いました



⑨道の駅ふたみで  
海を眺めながら振り返り



⑧道の駅ふたみで  
開催された  
「アオアシ展」を散策



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

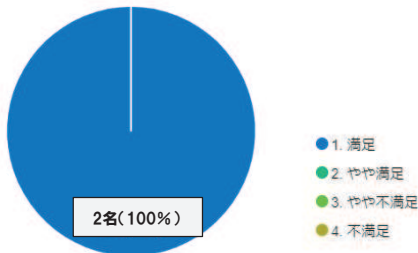
# Comment

## 参加者コメント

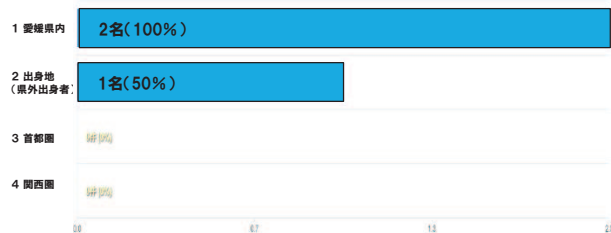
- ・綺麗な景観をうまく活用して人を集めることができているところだと思いました！それも活気のある若者が、率先して地域を元気にしようとしているからだと思います！
- ・やりたいことがあるって良いなあと思いました…！
- ・すごく地域愛を感じて、伊予市の可能性は無限大だと思いました。私の地元の可能性も探してみたいと思います！
- ・地域おこし協力隊の方の双海に対する思いや、実際の活動の起こし方について地元をまわりながらお聞きすることができ、さまざまな知見を得られました！また今日は風が強かったのですが、それによって波が高く光に反射して景色が綺麗で、景観の良さが感じられました！
- ・行政で働いている方と交流しながら伊予市について知ることで、幅広い視点からフィールドワークを行うこともできました。

# アンケート結果

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.卒業後はどの地域で働きたい？（複数回答可）



## 協力交流先及び市町担当者紹介

- ・双海地区地域おこし協力隊(R5.12.31退任)  
海に恋する、泊まれる喫茶店ポパイ 上田 沙耶 様
- ・伊予市 企画政策課 課長補佐 向井 英樹 様  
係長 込田 綱蔵 様



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



# 目的

“東温市らしさ”にあふれた商品や人に触れ、東温市への愛着を深めてもらう。  
豊かな自然に恵まれた地域を体感するとともに、

## 東温市 City

### 魅力あふれる自然と文化 東温市を満喫しよう

・日時 R5.11.19(日)  
Date 11:45~18:40

・参加費  
500円 (ドライフラワー材料費)

・参加人数  
6名

## プログラム内容 Contents

①伊予鉄松山市駅に集合  
電車で東温市へ出発



③あたりは雪景色  
素手で雪だるまを作る



②白猪の滝を  
目指して山登り



④白猪の滝を背景に  
雪だるまを飾る



⑥ core代表の板橋様から  
ドライフラワー作りを教わる



⑤さくらの湯観光  
物産センターで一服



⑦完成  
鑑賞用、贈答品として  
それぞれ作成



⑨帰りは伊予鉄バスに乗りし、  
車内で振り返り



⑧地域おこし協力隊  
小崎隊員から活動内容  
や体験談などを伺う



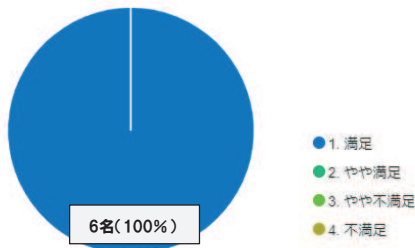
「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

# 参加者コメント

- 景色が特に気に入った。私は自然のある町が好きなのですが、横河原からタクシーで白猪の滝に行くまでが重信川があり、奥まで続く山があり、棚田があり、町も広々として美しいなと思いました。
- ちょうど雪の後ということもあり、イチョウやコスモスなどの秋の景色と冬の景色である雪が同時に見られてより美しかったです。
- 魅力的な自然と文化がたくさんあるところが良いと思いました。伝統的な文化を活かして、地域を元気づけようとする活力が感じられました。やっぱり自然っていいなあと思いました！！
- 地域おこし協力隊の方との交流を通して、愛媛県内の魅力を探してみたいと思いました。

## アンケート結果

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.卒業後はどの地域で働きたい？（複数回答可）



### 協力交流先及び市町担当者紹介

- core
- 河之内地区地域おこし協力隊
- 東温市 企画政策課  
地域活力創出課

### Introduction

代表 板橋 由梨 様  
小崎 陵司 様  
係長 山内 健太郎 様  
主任主事 八木 小百合 様  
係長 宮崎 朋子 様



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



# 目的

中間支援組織であるゆりラボ、移住者との交流や、久万杉を使って建築した久万美術館、星空のまち久万高原ならではの天体観測館に訪問し、久万高原町の魅力を発見してもらおう。

久万  
高原町  
Town

久万高原町の文化と自然を満喫しよう

・日時 R5.12.3(日)  
Date and Time 8:15~16:30

・参加費  
Participation fee  
無料 (昼食代等は参加者負担)

・参加人数  
Number of participants  
12名

## プログラム内容

①JR四国バスで  
久万高原町へ出発



②久万美術館に到着



③中間支援組織「ゆりラボ」にて、  
移住者の方々と交流



④ジョーンズかおり様  
御一家、桑名様、直木様と  
意見交換会



⑤久万造林の厨房で  
参加者のために昼食を  
作っていただきました



⑥地元食材を使用した「くーま  
カレー」などの手作り料理を堪能



⑦天体観測館へ移動し、  
プラネタリウムを鑑賞



⑧ふるさと旅行村で  
ポニーと触れ合う



⑨ふるさと旅行村で  
アルパカと触れ合う



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



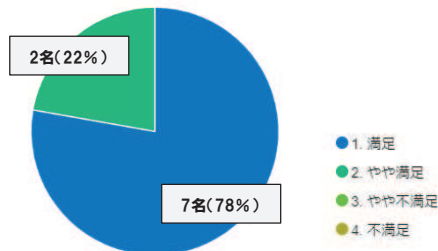


# 参加者コメント

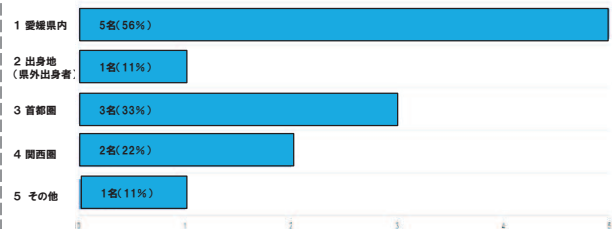
- ・地域の人の愛が伝わりました。実際に様々な活動に取り組まれている方や施設の方のお話を聞くことができ、より久万高原町の魅力が伝わりました。また訪れたいと思ったし、地域創生や地域活性化について考える良いきっかけになりました。また、改めて愛媛県が大好きだと感じました。
- ・ゆりラボの職員さんと直接会ってお話できることはなかなかないので良い機会だったなと思いました。どんな活動をしているかのお話を勤めている方から聞くことができ、知らなかった情報もあったので話していて楽しかったです。それとアルパカや馬、ポニーとの触れ合いはすごく楽しめました。なかなかあの近さで動物と触れ合う機会がないのでときどきしながら触れ合えました。

## アンケート結果 results

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.卒業後はどの地域で働きたい？（複数回答可）



### 協力交流先及び市町担当者紹介

#### Introduction

- ・一般社団法人ゆりラボ
- ・面河地区地域おこし協力隊
- ・ふるさと納税返礼品開拓担当  
地域おこし協力隊
- ・移住者
- ・一般社団法人ウィンダムファーム
- ・久万高原町 総務課秘書政策班  
総務課秘書政策班

- 代表 板垣 義男 様  
桑名 虹之介 様
- 直木 志乃 様  
ジョーンズかおり 様 御一家
- 班長 大西 洋三 様  
主任 丸山 健太 様



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

# 目的

松前町の名産品の一つである「苺」の生産現場に訪れ、生産者を行う農業を通じ、普段は気付けない松前町の隠れた魅力を発見してもらおうと共に、中予地域への愛着を高める。



## 松前町 Town

### 中予再発見！～まさきからオシャレを発信

・日時 R6.1.12(金)  
Date and time 9:00～16:30

・参加費  
Participation fee 800円 (苺狩りと昼食に係る費用)

・参加人数  
Number of participants 8名

## プログラム内容 Contents

①コミュニティバス「ひまわりバス」で目的地へ出発



②農作業のお手伝いとして里芋掘り体験



③自分たちで掘った里芋を洗う



④昼食にキッチンカーで芋炊きを調理していただきました



⑤自分たちで掘った里芋を蒸してもらい、キノコみそをつけていただきました



⑥学生を受け入れていただいた地域住民の方と記念撮影



⑦まんまいちご園にて、いちご狩りを体験  
甘くて美味しいイチゴをみんなで頬張りました



⑧ソフトクリームと一緒に食べるいちごは甘さが引き立って絶品



⑨ひよこたん池でおしゃれな写真を撮影し、最後に集まって一日を振り返り



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

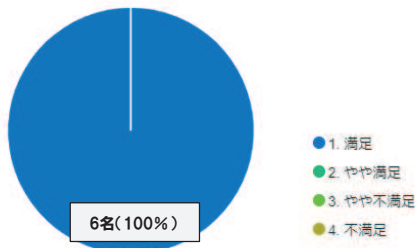
# Comment

## 参加者コメント

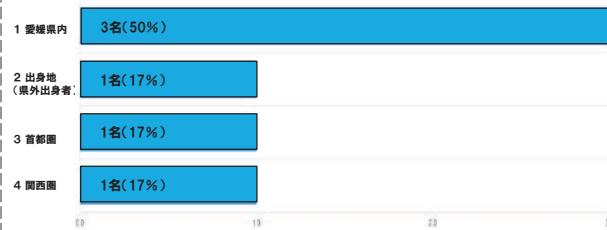
- ・食べ物がすごく美味しかったのが1番印象に残り、いいと思いました。今回お世話になった松前町の方々が、松前のことについて沢山話しをして下さり、まちづくりに力を入れているのがわかりました。
- ・関わってくれる方がとても優しく、ご飯がとても美味しかったです！
- ・エミフル以外遊べる場所や観光する所が特にないと思っていた松前町だったが、マリンスポーツや農業など盛んであることを知れた。
- ・めっちゃ楽しかったです！！また参加したいです！農作業もう少しやりたかったです！
- ・少人数だったぶん充実していたところもあったと思います。これくらいの7,8人が良さそうだなとおもいます。

# アンケート結果 results

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.卒業後はどの地域で働きたい？（複数回答可）



## 協力交流先及び市町担当者紹介

### Introduction

- ・株式会社まさきばたけ
- ・株式会社NIC愛媛
- ・福八モテナス合同会社
- ・エコ寅
- ・本村青年団

代表取締役  
代表  
代表  
支部長

まんまイチゴ園の皆様  
大石 雅士 様  
田中 修二 様  
松室 純平 様 他  
宮内 龍真 様

- ・松前町商工会青年部有志
- ・松前町 まさきオフィシャルサポーター
- ・松前町 総務課 課長補佐
- ・松前町 総務課 主事

久保田 大希 様  
古川 栄一 様  
西川 浩一郎 様

※学生が本フィールドワークを通して撮影した写真を「広報まさき 2024年2月号(まさきのわだい)」に掲載していただいております。右に二次元コードを貼付していますのでチェックしてみてください。



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業





# 目的

普段の学生生活では感じる事ができない、地元(中予地域)の魅力を再発見してもらう。

砥部町でもっとも集客力があるイベントの一つ「秋の砥部焼まつり」と、山間部で同日開催される「広田ふるさとフェスタ」に参加してもらうことで、砥部焼の魅力に触れてもらうとともに、砥部町の地元住民との交流を通じ、

## 砥部町 Town

### 文化とところがふれあうまち ”砥部町”を体験しよう

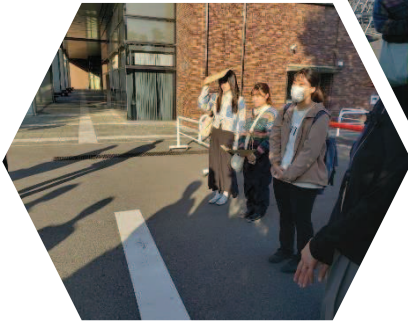
・日時 R5.11.5(日)  
Date and Time 8:00~16:30

・参加費  
無料 (昼食代等は参加者負担)  
Participation fee

・参加人数  
7名  
Number of participants

## プログラム内容 Contents

### ①松山大学へ集合



### ②ひろた交流センターにてボランティアの説明を受ける

### ③広田ふるさとフェスタのお手伝い

(広田老人会ブースでは、割りばしでゴム鉄砲を製作)



### ④広田ふるさとフェスタのお手伝い

(元気広田を考える会では、地域住民の方と一緒にうどんを調理)

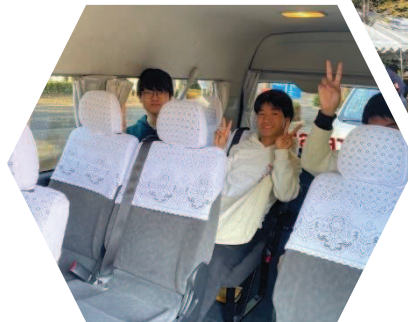


### ⑤Let's go!!

### ⑥昼食は自分たちで作ったまかないのうどん



### ⑦砥部焼祭りの会場(陶街道ゆとり公園)へ公用車で移動



### ⑧祭りに参加し、買い物を楽しみ、砥部焼の魅力に触れる

### ⑨砥部町役場で振り返り



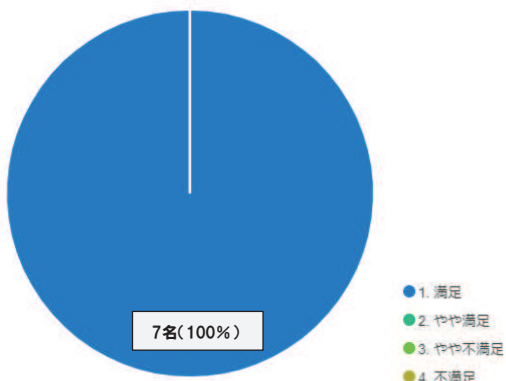
「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

# Comment

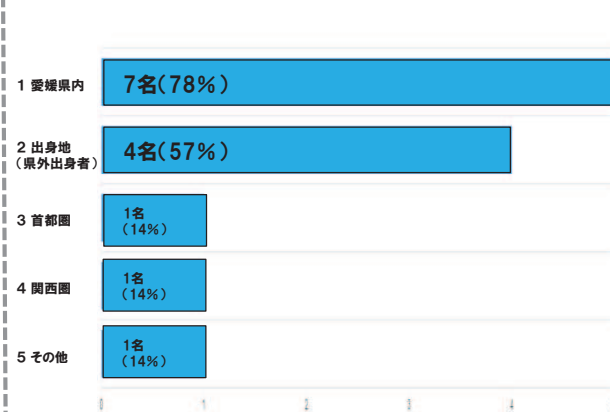
- ・砥部町は砥部焼という愛媛県で代表的な伝統工芸品があり、窯元が多くあるところがいいなと思いました。  
他の町の伝統工芸で有名なところでは後継者が少ないという話を多く聞くのですが、ここまで賑わっていることにとっても地域振興に成功しているなと感じました。
- ・砥部焼祭りを訪れてみて、県外からの客の多さに驚かされました。
- ・私は砥部の里冒険クラブのボランティアリーダーをやっているのですが、すでに雰囲気は知っていましたが、砥部焼という一つのブランドの集客力の凄さ、秋という景色を存分に楽しめる山々の雰囲気、澄んだ水の中に光る落ち葉が見られる砥部の川、全てがとても良いと思いました。

## アンケート結果 results

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.卒業後はどの地域で働きたい？（複数回答可）



### 協力交流先及び市町担当者紹介

- ・「元気・ひろた」を考える会の皆様
- ・広田老人会の皆様
- ・砥部町 企画政策課 係長 中川 正志 様
- 企画政策課 会計年度任用職員 高市 梨紗子 様



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



# 目的

就職活動を本格的に始める前で、県内の企業や業界に対する認識があまりない低学年の大学生を対象に、どのぐらいの規模の企業が県内のどの地域にあるのか、また、各業界が置かれている環境はどうなっているのかなど、企業のホームページやニュースサイトなどから幅広い情報を集め、整理し、より多くの県内企業や業界の現状を知るきっかけにする。

# 業界マップづくりイベント

・開催日 R5.7.8(土) ・参加学生の人数 11人

## プログラム内容

**概要説明**      **作成**      **議論**

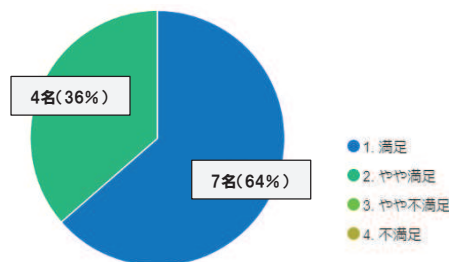
**相談**      **プレゼン**      **完成マップ**

## 参加者コメント

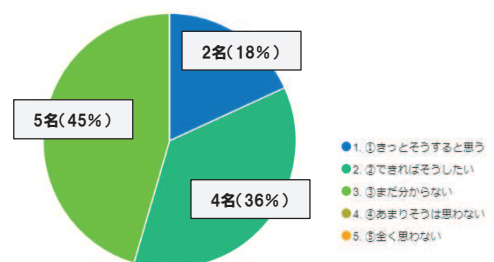
- ・少人数でできるワークが、自分から率先して取り組めるので良いと思った。
- ・初対面のメンバーと短い時間で、発表資料を作成するのは難易度が高かったが、濃い議論ができて面白かった。
- ・短い時間でのプレゼンは難しかったが、メンバーと協力できてうまくいった。

## アンケート結果 results

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.将来、愛媛に住み続けたいと思いますか？



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



# 目的

就職活動が本格的に始まる前の低学年の学生を対象に、県内企業の社長とリラックスした雰囲気での出会い、交流する場を設け、就活サイト等では伝わりきらない社長の想いや将来ビジョンなど「県内企業の魅力」に直接触れてもらい、より深く県内企業に関心を持ってもらう。

# 社長さんとのde愛イベント

・開催日 R5.9.2(土) ・参加学生の人数 15人

## プログラム内容



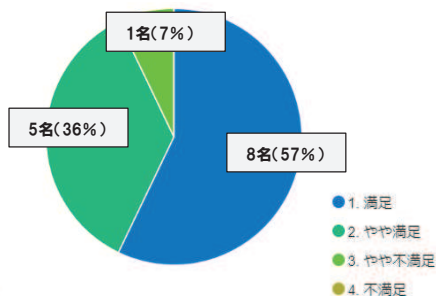
## 参加者コメント

(イベントを通して、「県内企業のイメージ」は変化は?)

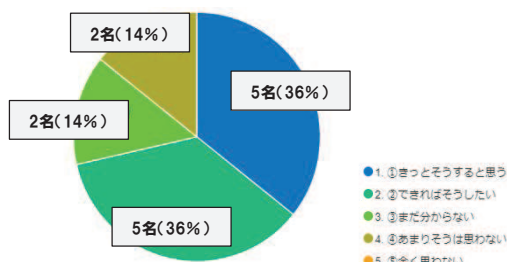
- ・思いやりのある社長さんが多いことを知った。
- ・社員に親身に寄り添って考えてくれる企業がたくさんあることを知った。
- ・県内企業だからこそできることがたくさんあると感じた。

## アンケート結果

Q.フィールドワークの満足度は?



Q.将来、愛媛に住み続けたいと思いますか?



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



# 目的

就職活動が本格的に始まる前の低学年の学生を対象に、県内企業を訪問する機会を設け、各企業での様々な体験・交流を通じて、企業の魅力や強みを体感し、幅広く県内企業に関心を持ってもらう。

# 企業探検隊イベント

・開催日 R5.9.13（水） ・参加学生の人数 16人

## プログラム内容



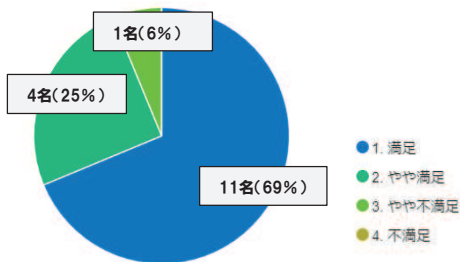
## 参加者コメント

(イベントを通して、「県内企業のイメージ」は変化は?)

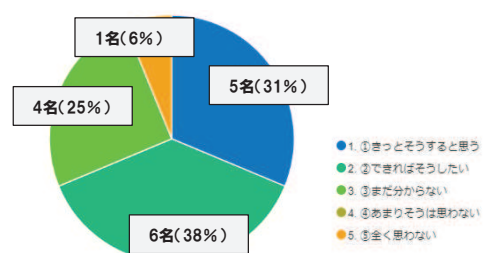
- ・漠然と聞いたことがある企業ばかりであったため、発表を聞くことで、どの会社も想像していたよりもアットホームな環境であることがわかった。
- ・県内企業が、どのような仕事内容や働き方なのかを知れたと言った意味で、明確な雰囲気やイメージが変わった。
- ・知らない企業もいくつかあったが、発表を聞いてそれぞれ社員に寄り添ったり地域の人と関わって働いているのだなと感じた。

## アンケート結果

Q.フィールドワークの満足度は?



Q.将来、愛媛に住み続けたいと思いますか?



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業





# 目的

就職活動を本格的に始める前の低学年の大学生を対象に、県内で働いている様々なロールモデルの方と、学生にとって身近な環境で直接お話を伺い、ライフキャリアを意識した「愛媛で働く自身の姿」をイメージすることで、将来の就職活動の際に、「県内で働く」という選択肢を持ってもらう。

# ロールモデルカフェイベント

開催日 R5.10.16(月) R5.10.30(月)  
R5.10.18(水) R5.11.1(水)  
R5.10.23(月)  
R5.10.25(水)

参加学生の人数 のべ12人

## プログラム内容

愛媛大学での様子

ロールモデルから、経験や意見を聞きました

「好きなことの見つけ方」など、その場でアドバイスをいただきました

松山大学での様子

将来への不安についてアドバイスをいただきました

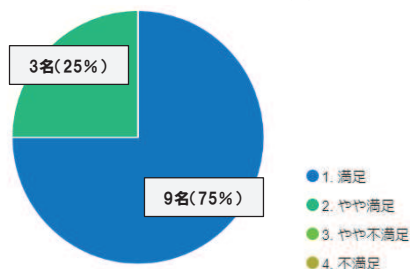
モヤモヤが少しでも解消できたかな？

## 参加者コメント (イベントを通して、「県内企業のイメージ」は変化は?)

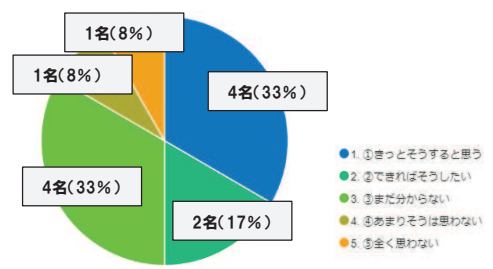
- ・自分の知らない企業を知れた。
- ・一般企業で魅力発信している企業を知れた。
- ・話しやすい企業の人が多く、とてもいいイメージが変わった。
- ・中小企業と大企業の違いなどが明確になってきた。
- ・多様で自分の力が活かせるような企業がたくさんあることを知った。
- ・特に中小企業の良さに気付くことができた。NPO一本で自分は生きていくのかなあと感じていたけど、中小企業に入ってみたいと思った。一本に絞らなくても、中小の経験もしたいと思った。

## アンケート結果

Q.フィールドワークの満足度は？



Q.将来、愛媛に住み続けたいと思いますか？



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業



# R5年度ワークショップ 大学生アンケート集計結果

## 総括

### (1) 良かった点

○参加者の満足度が高い、役に立つワークショップを行うことができた。

- ・社会人や市町職員など、普段関わる機会が少ない人から話を聞いたことが高い満足度につながったと考えられる。

→今後も人的交流を軸に事業を実施していく必要性を示唆

### (2) 課題と対応

○第1回WSから第2回WSおよび各FWに継続的に参加した学生が少なかった。

- ・各イベントの連続性が乏しかったことや、イベント実施時に次の企画の広報ができなかったことが影響していると考えられる。

→各イベントに連続性を持たせたり、広報を効果的に行うことが必要

○参加者に「卒業後に就職したい地域」を尋ねたところ、「まだわからない」という回答が多かった。

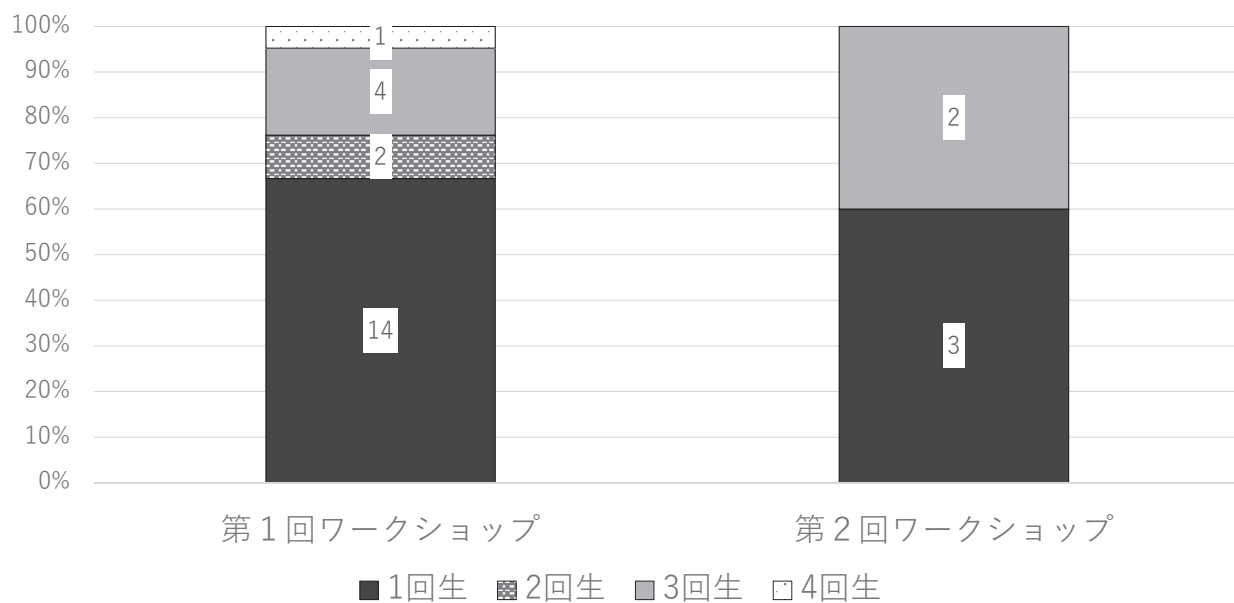
→引き続き、大学生に対して、愛媛での仕事と暮らしの魅力をアピールする必要性を示唆



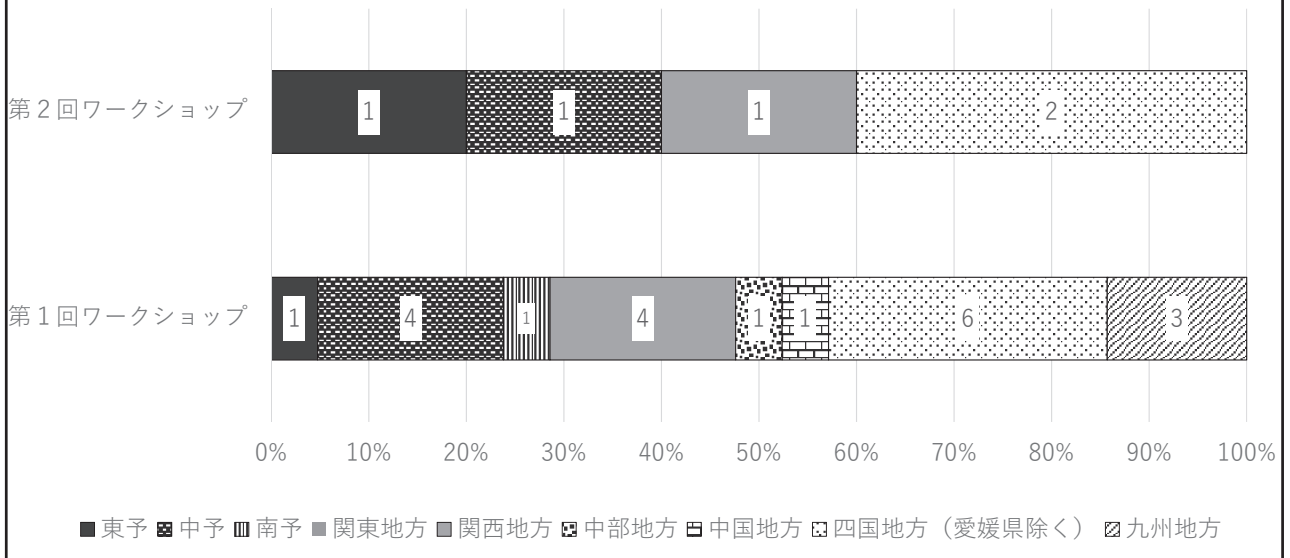
## WS参加者数/アンケート回答率

	参加者数	アンケート回答数	アンケート回答率
第1回WS	30	21	70%
第2回WS	14	5	36%

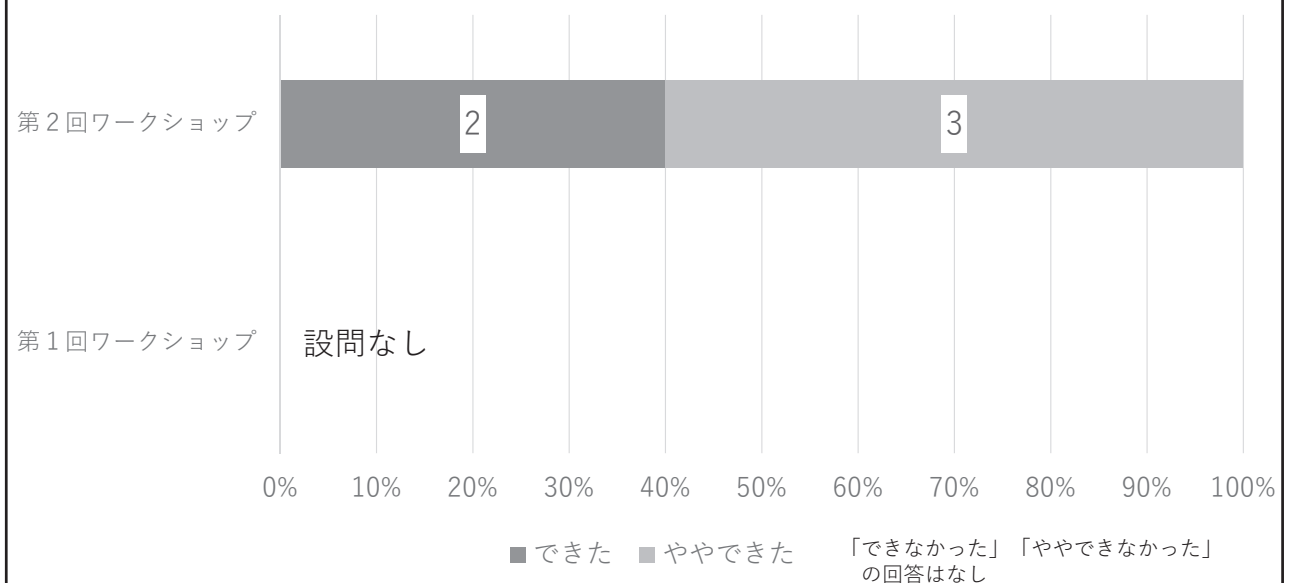
## WS参加者の学年



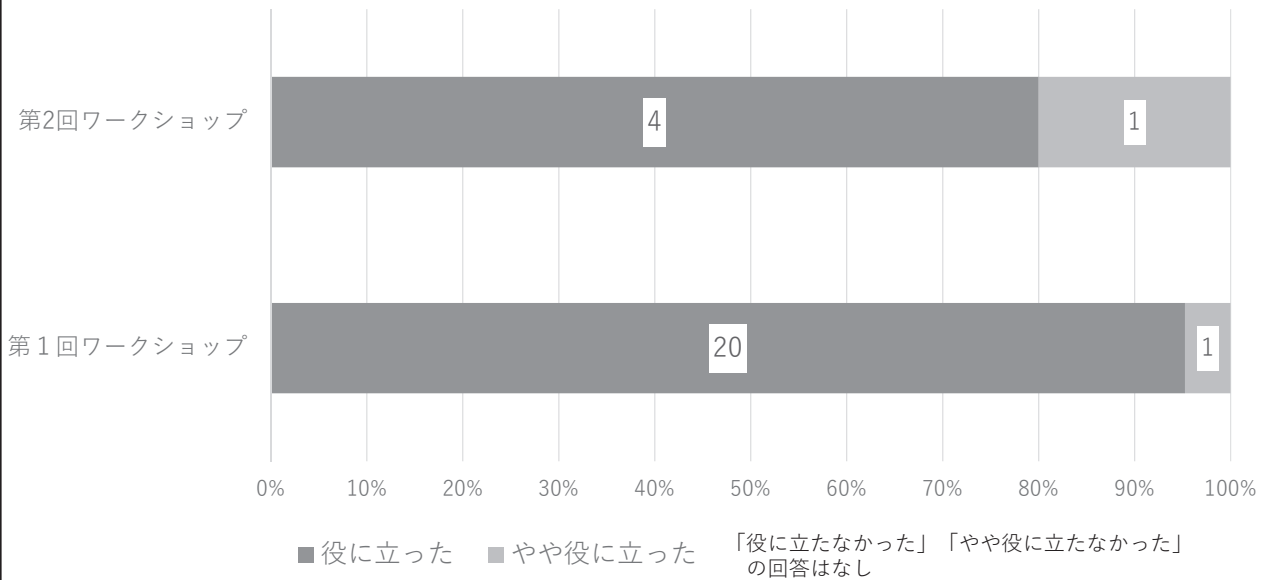
## 参加者の出身地



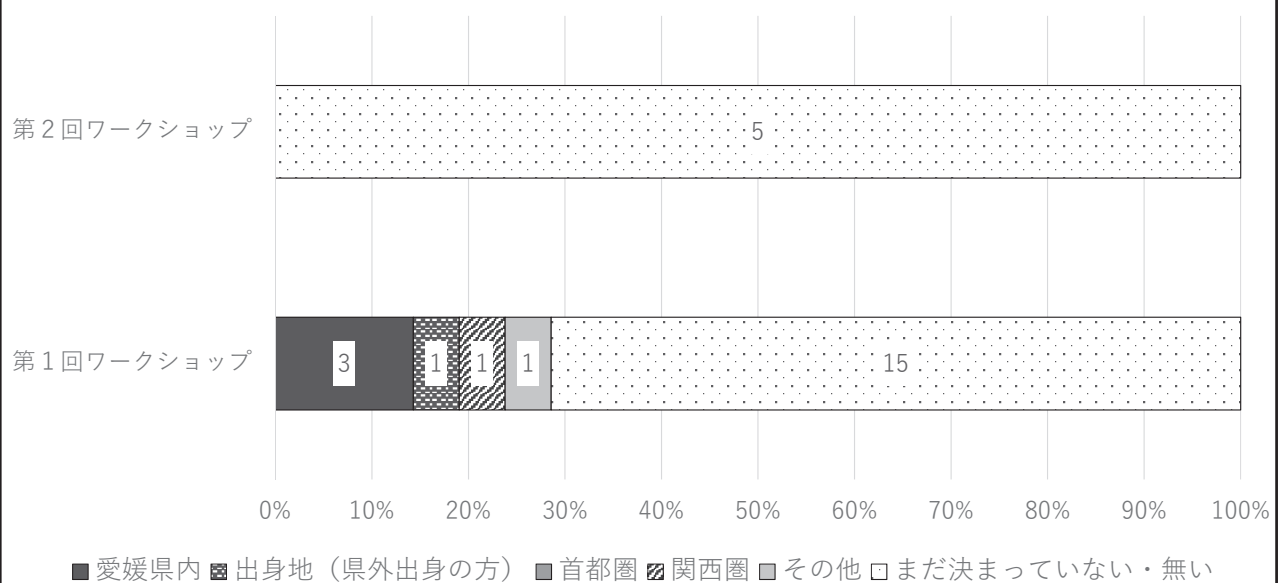
## WSを通して、愛媛県への興味を深められた参加者の割合



## WSの満足度（役に立ったか）



## WS参加者が卒業後に就職を希望する地域





## 参加者の声～第1回ワークショップ～

- 普段関わることのないフォトライターの方や企業の方と一緒にグループワークをすることで大学生からは出てこないような意見を聞く事ができてよかった。
- 多種多様な人と活発な話ができよかった。
- とてもためになるワークショップだったと思う。
- 自分の価値観をより深く知ることができてよかった。
- 多くの人と話す機会があり、そこがなによりもよかった！
- 社会人と学生が隣に座って話せる環境はとてもありがたい。
- 新しい発見ができたり、自分の持つ価値観について気づくことが出来たりするきっかけになりよかった。

## 参加者の声～第2回ワークショップ～

- 市町のポスターセッションを聞いて、県外の出身で新しく知ることが多かった。
- 参加したことで、愛媛の魅力がたくさん知ることができた。
- 素敵な場所が沢山あると初めて知ることができ、他の人にも伝えたいと感じた。
- 各市町に色々な魅力があることが分かった。
- 6つ市町の話聞いて、どこも自然豊かという共通点があった。どこも自分にとって住みやすそう聞いて楽しかった。
- ポスターセッションでは愛媛県の中予の市町について初めて知ることが多くあった。

# R5年度暮らしのフィールドワーク 大学生アンケート集計結果

## 総括

### (1) 良かった点

- 愛媛県への愛着を深めた参加者の割合が県内出身・県外出身ともに高かったこと
- FWを通じて、県内・県外の出身を問わず、全ての参加者が、愛媛県への愛着を深めている。
  - ・それぞれの市町・地域に対する認知・認識が向上・改善。
  - ・受け入れ先の団体・住民の皆さんとの交流、対話を喜ぶコメントも多く寄せられており、参加者の愛着向上の要素として、人的交流の果たす役割が大きいことを再認識。

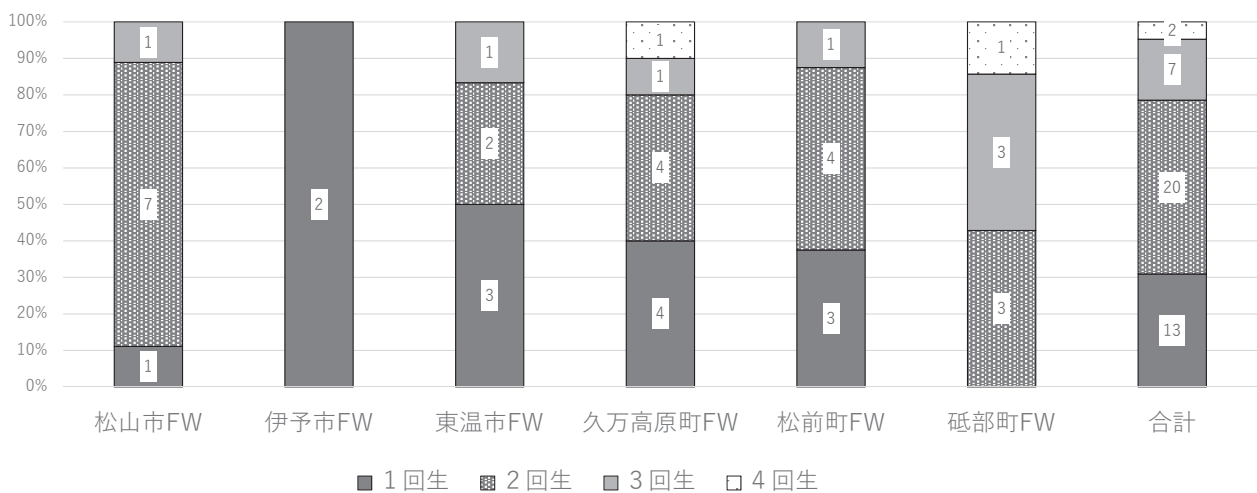
### (2) 課題と対応

- 卒業後の就職先では、県内出身者の地元志向を再確認するとともに、県外出身者の流動性が高い傾向が見られた。
  - ・県内出身者(23名)のうち、首都圏・関西圏を希望する者は3名・13%
  - ・県外出身者(16名)の50%(8名)が出身地を希望する一方で、愛媛県7名(44%)を含め、94%(15名)が、出身地以外の地域を挙げている。
    - 地域への認知・理解を深める取組み継続の必要性を示唆

## FW参加者数/アンケート回答率

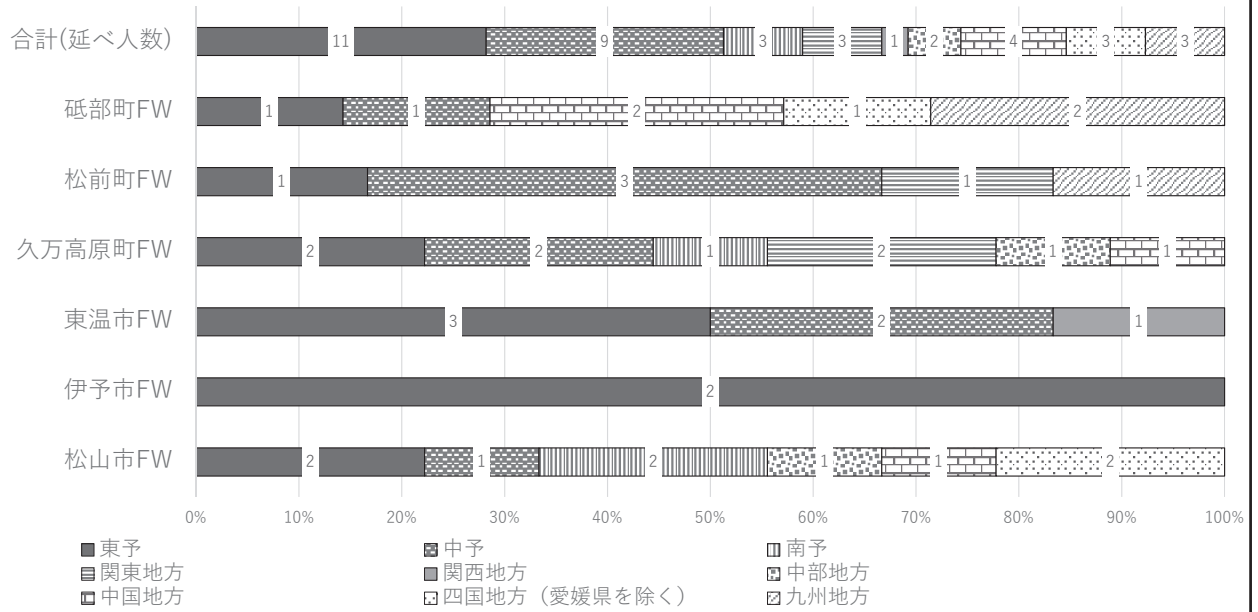
	参加者数	アンケート回答数	アンケート回答率
松山市FW	9	9	100%
伊予市FW	2	2	100%
東温市FW	6	6	100%
久万高原町FW	10	9	90%
松前町FW	8	6	75%
砥部町FW	7	7	100%
合計	42	39	93%

## 各イベント参加者の学年

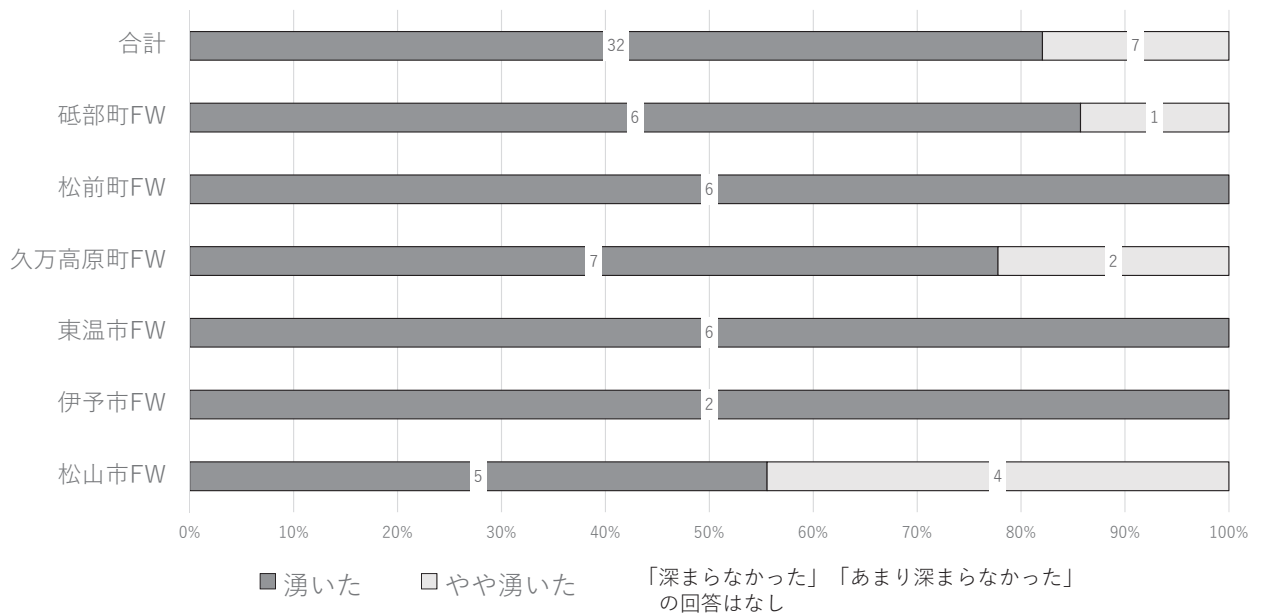




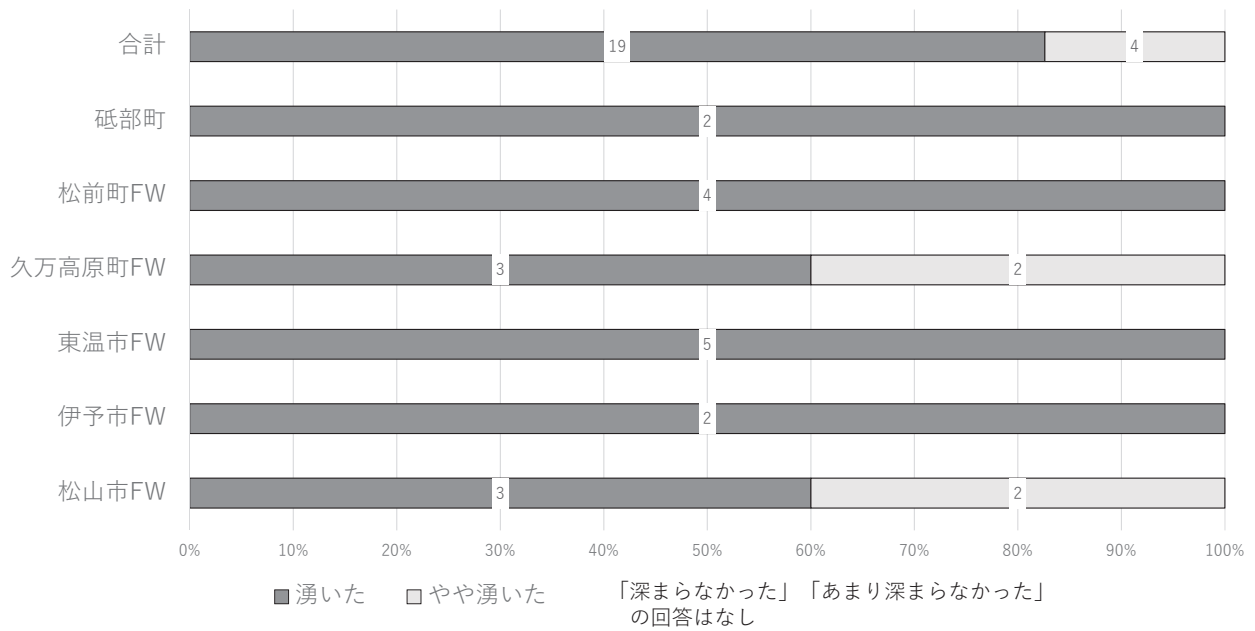
### 参加者の出身地 (アンケート回答者のみ)



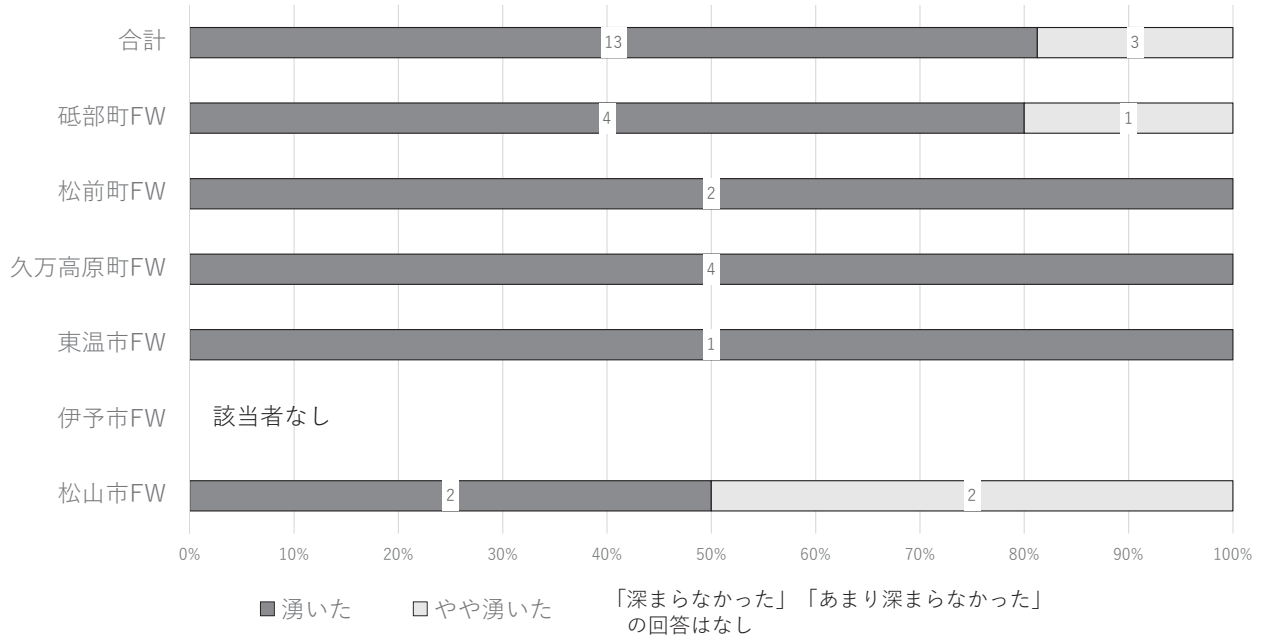
### FWを通して愛媛県に愛着が湧いた参加者の割合

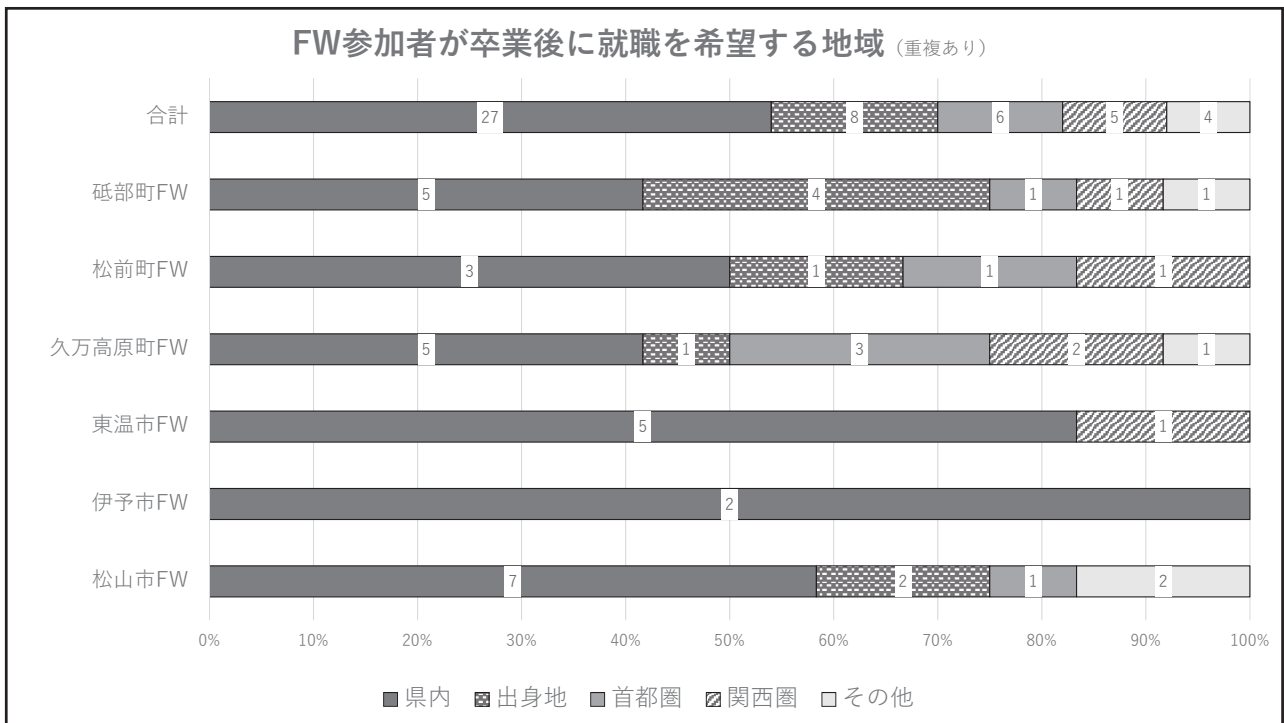
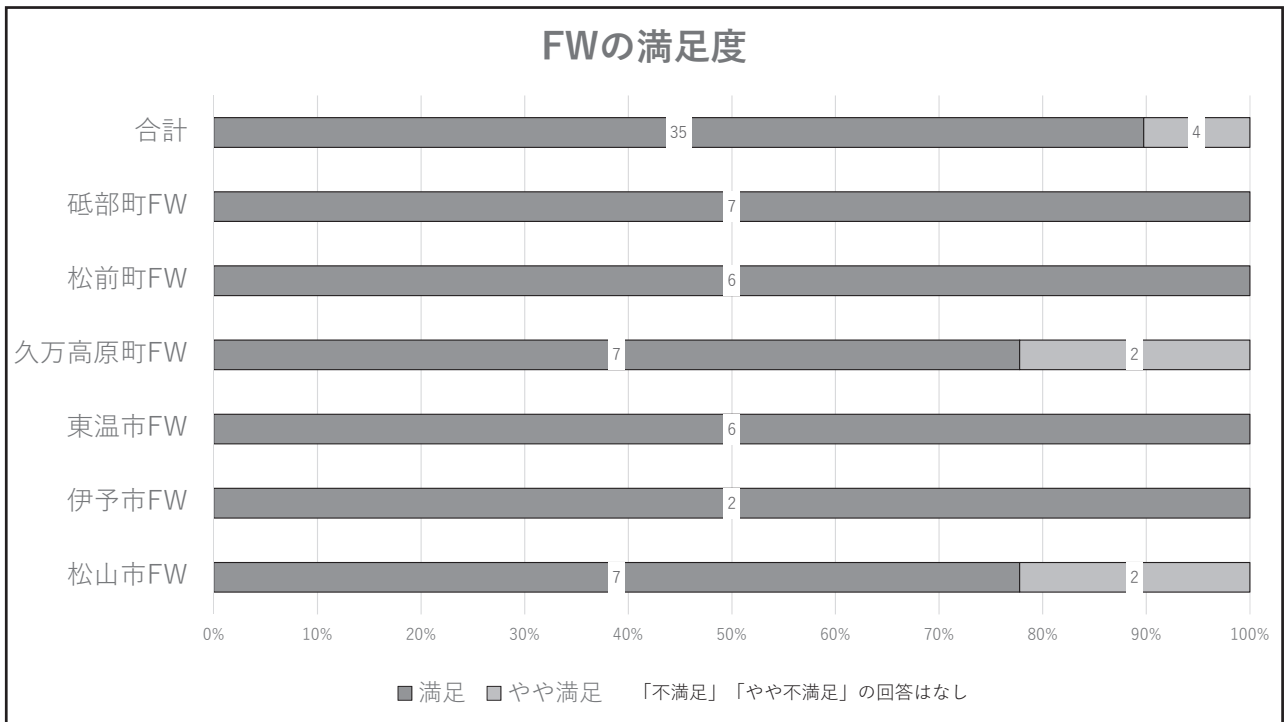


### FWを通して愛媛県に愛着が湧いた県内出身者の割合



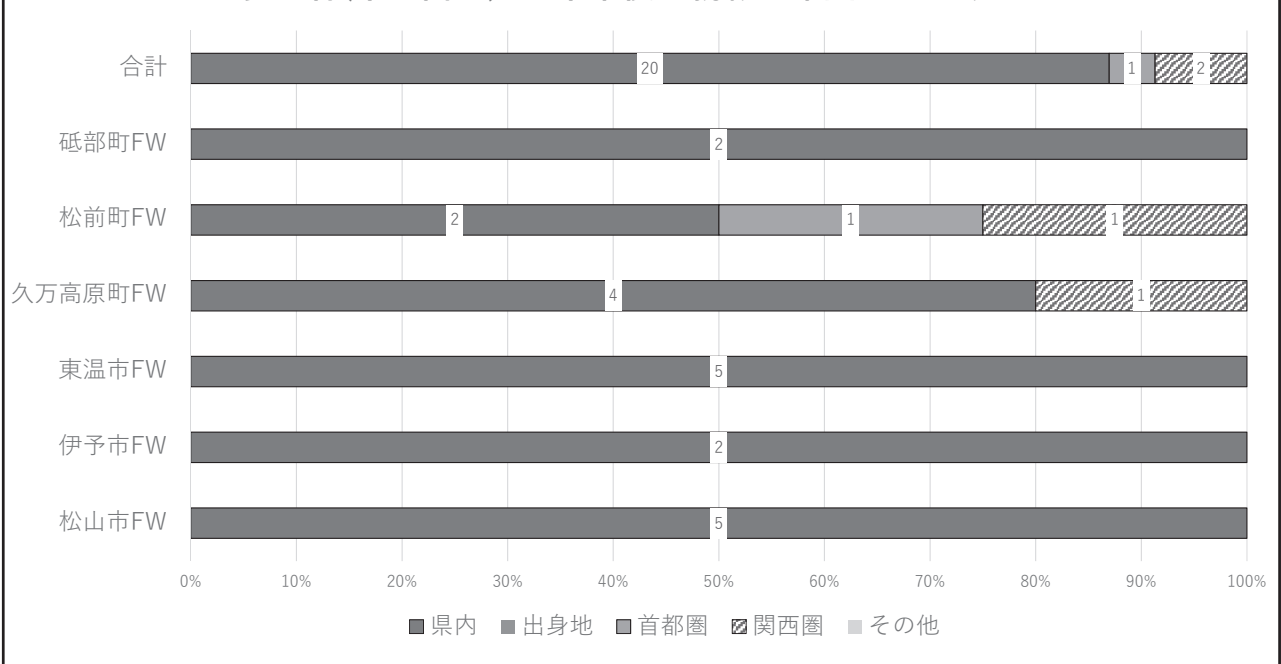
### FWを通して愛媛県に愛着が湧いた県外出身者の割合



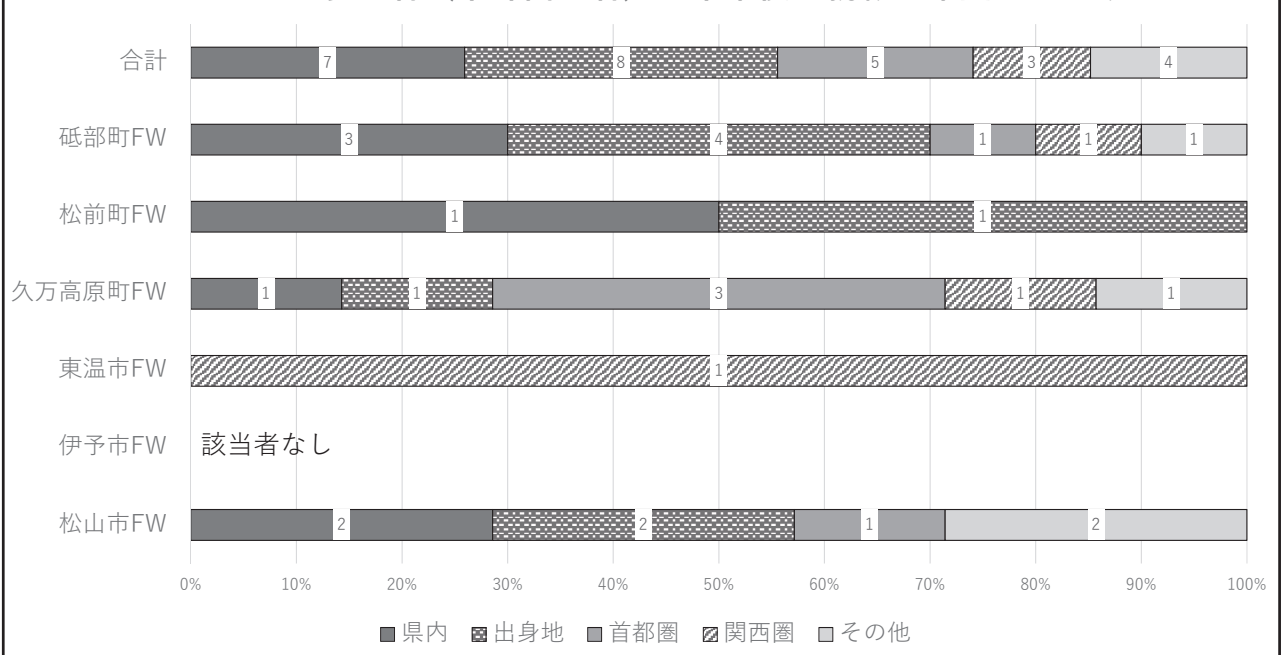




FW参加者(県内出身)が卒業後に就職を希望する地域 (重複あり)



FW参加者(県外出身者)が卒業後に就職を希望する地域 (重複あり)



## 参加者の声～松山市FW～ (抜粋)

- 秋のフェスタが活気があって良かった。
- 文化財などについて勉強できる機会があれば、また訪れたいと思う。
- 文化的なもの、自然と、地域が調和しているところがいいと思った。
- 地元のまちづくり協議会の方、子供たち、松山市が協力して盛り立てようとしているのがとても良いなと思った。
- 歴史がパンフレットにあるだけではなく、ボランティアの方や市の方が実際に話してくださることでより頭に入りやすかった。
- タヌキが祀られていた山口霊神が良かった。
- 歴史あるお寺が見れてよかった。

## 参加者の声～伊予市FW～ (抜粋)

- 地域おこし協力隊の方の双海に対する思いや、実際の活動の起こし方について地元をまわりながらお聞きすることができ、さまざまな知見を得られた。
- 行政で働いている方と交流しながら伊予市について知ることで、幅広い視点からフィールドワークを行うことができた。
- 綺麗な景観をうまく活用して人を集めることができているところだと思った。
- 活気のある若者が、率先して地域を元気にしようとしていると感じた。
- すごく地域愛を感じて、伊予市の可能性は無限大だなと思った。

## 参加者の声～東温市FW～ (抜粋)

- 横河原からタクシーで白猪の滝に行くまでが重信川があり、奥まで続く山があり、棚田があり、町も広々としていて美しいなと思った。
- 絶対にまた遊びに来たいと思った。
- 伝統的な文化を活かして、地域を元気づけようとする活力が感じられた。
- 地域おこし協力隊の方との交流を通して、愛媛県内の魅力を探してみたいと思った。
- 東温市にお住まいになっている方の技術を活かした体験もでき、東温市自体への興味が大変高まった。

## 参加者の声～久万高原町FW～ (抜粋)

- 町の資源として、広大な自然と豊かな食物がとても魅力的だと感じた。
- ゆりラボの職員さんと直接会ってお話できることはなかなかないので良い機会だったなと思った。
- アルパカや馬、ポニーとの触れ合いはすごく楽しめた。
- 松山からバス1本で行けるので、自分が思っていたよりも近く、気軽に行き来ができて良いと思った。
- 移住者の方のお話を聞いて、地域の方々と関わりながら仕事ができる点がとても魅力的に感じた。
- 実際に様々な活動に取り組まれている方や施設の方のお話を聞くことができ、より久万高原町の魅力が伝わった。



## 参加者の声～松前町FW～ (抜粋)

- 食べ物がすごく美味しかったのが1番印象に残り、いいと思った。
- 今回お世話になった松前町の方々が、松前のことについて沢山話しをして下さり、まちづくりに力を入れているのがわかった。
- 松前町でマリンスポーツや農業など盛んであることを知れた。
- 面白い人が多かった。
- キャラが濃い人が多くものすごく生産性の高い時間を過ごさせてもらった。
- 人があたたかかった。
- 関わってくれる方がとても優しく、ご飯がとても美味しかった。

## 参加者の声～砥部町FW～ (抜粋)

- 他の町の伝統工芸で有名なところでは後継者が少ないという話を多く聞くが、ここまで賑わっていることにとても地域振興に成功しているなと感じた。
- イベントや地域の行事・文化活動が盛んな様子が想像できて、いいところだと思った。
- 広田ふるさとフェスタに参加して、山であるのに子供たちや若い人たちが予想以上にいるのを見て、印象が変わった。
- お祭りでワークショップに参加した時、地域の方が笑顔で優しく、作り方などを教えてくれたので、良い人が多いという印象を感じた。
- 砥部焼という一つのブランドの集客力の凄さ、秋という景色を存分に楽しめる山々の雰囲気、澄んだ水の中に光る落ち葉が見られる砥部の川、全てがとても良いと思った。

## ロールモデルアンケート結果

※赤字は学生の記述回答

### ○参加学年

- ・1年生 75%(9人)
- ・2年生 0%(0人)
- ・3年生 8%(1人)
- ・4年生 17%(2人)

### ○愛媛のことは「好き」か

- ・大好き 8%(1人)
  - ・とても住みやすくていい街だから。
- ・まあまあ好き 92%(11人)
  - ・教育活動が行いやすい。学生に優しい。
  - ・便利、綺麗
  - ・地元だから(5人)
  - ・こどもに優しい街だと感じるから。
  - ・便利(3人)

### ○イベントは、全体として満足いただけましたか？

- ・満足 75%(9人)
  - ・中小企業、大企業、公務員職について幅広く知れたから
  - ・細かいところまで知れたから。
  - ・企業の社長さんから色々なことを聞いたから
  - ・普段聞けない話をフラットな雰囲気でもらえたから。堅苦しくなく、楽しかった。少人数で質問しやすかった。
  - ・公務員と一般企業の良さやおすすめを教えてもらえたから。
  - ・自分の将来性がみえたから。
  - ・様々な価値観に触れることができた。人間関係コミュニケーションの大切さを知った。
  - ・色々な価値観を知れたから。
  - ・自分の将来へ向けて、やりたいことが明確になった気がするから。
- ・ほぼ満足 25%(3人)
  - ・大学生が一人しかおらず、自分以外の学生の価値観の話を聞けなかったのが残念だった。ロールモデルの林さんと野村さんがご丁寧に対応してくださったり、私

- の経験に基づいて色々アドバイスをしていただいたので、すごくためになった。
- ・新しく宇和島プロジェクトの方のお話が聞けたから。
- ・大学のうちにやるべきことがよくわかったから

○「県内企業のイメージ」は変わったか

- ・すごく良いイメージに変わった 25% (3 人)
  - ・特に中小企業の良さに気付くことができた。NPO 一本で自分は生きていくのかなあと思っていたけど、中小企業に入ってみたいと思った。一本に絞らなくても、中小の経験もしたいと思った。
  - ・多様で自分の力が活かせるような企業がたくさんあることを知った
  - ・一般企業で魅力発信している企業が知れたから。
- ・少し良いイメージに変わった 67% (8 人)
  - ・中小企業と大企業の違いなどが明確になってきた
  - ・話しやすい企業の人が多く、とてもいいイメージに変わった
  - ・漁業関係のお仕事を知れたから。
  - ・様々な業界があることを知った
  - ・魅力的な企業がたくさんあることを知った。
  - ・自分の知らない企業を知れた。
  - ・様々な就職先があることを知った。
  - ・思ったより休みが取れることが分かったから。
- ・変わらない 8% (1 人)
  - ・特になし

○フィールドワーク以外に参加したい内容

- ・インターンシップのような企業訪問 33% (4 人)
  - ・単発のインターンシップ体験
  - ・1 回生で行く機会がないから
  - ・インターンシップをする機会がなかなかないから。
  - ・インターンは一人では行きにくいから
- ・「暮らし」に関する体験・交流 58% (7 人)
- ・ない 8% (1 人)

○将来にわたって、愛媛に住み続けたいか

- ・きっとそうする 33% (4 人)
  - ・地元貢献したいから
  - ・地元のためになにか魅力発信をしたいから

- ・地元のためになにかしたいから
- ・地元のために貢献したいから。
- ・できればそうしたい 17% (2人)
  - ・とても住みやすい街だから。知り合いや友達がたくさんいるから。
  - ・地元のためになにかしたいから。
- ・まだ分からない 33% (4人)
  - ・様々な場所で色々な経験を積みたいから (2人)
  - ・企業などまだ知らないことも多いから
  - ・住みやすい
- ・あまりそうは思わない 8% (1人)
  - ・地元に戻りたいから (島根県)
- ・全く思わない 8% (1人)
  - ・地元に戻りたいから。(島根県)

○ロールモデルと話してみても将来をイメージすることができたか

- ・よくできた 17% (2人)
  - ・大学から入社の際のリアル話を聞いて、自分に当てはめることができた。
- ・できた 67% (8人)
  - ・一つ一つのキャリアプランはイメージできなかったが、自分は意外とお金を大事にする価値観だと気付くことができた。
  - ・好きなことをしている自分 (3人)
  - ・民間企業で働くイメージもできた
  - ・エスピーシーという企業を知れたので、さらに1人で調べてみようと思った。
  - ・将来のやりたい系統がわかってきた気がする。(2人)
  - ・大学生活をどのようにしたら、将来につながるか分かった。
- ・あまりできなかった 17% (2人)

○今回の内容以外で、ロールモデルから聞いてみたいと感じたお話はあるか。

- ・ある 17% (2人)
  - ・これからくる業界
  - ・自分のしたいことを見つける方法
- ・ない 83% (10人)

○イベントの感想

- ・サイトを使って実際にやってみたい。



## まとめ

- ・イベントの目的である『「愛媛で働く自身の姿」をイメージする』は達成できたのではないか。
  - ・参加学生の約 83%が、今回のイベントで将来をイメージできたと回答した。
  - ・約 92%の参加学生が、今回のイベントを通して「県内企業のイメージが変わった」と回答した。
- ・愛媛県のことが「大好き」「まあまあ好き」と参加者全員が答えているにも関わらず、将来にわたって愛媛に住みたいと考える学生はあまり多くなかった。今後のイベントをする際に、どのようにすれば学生に「愛媛に住みたい」と思ってもらえるかを考える必要があるのではないか。
- ・「暮らし」に関する体験・交流の需要が高いことが分かった。
  - ・58%の学生が「暮らし」に関する体験・交流をしないと回答した。
  - ・一方で、具体的にどのような体験・交流がしたいかは空欄だったため、学生に刺さるようなコンテンツを運営側で考案する必要がある。

## 補足情報

- 参加学生の出身地
  - ・愛媛県 42% (5 人)
  - ・徳島県 34% (4 人)
  - ・島根県 17% (2 人)
  - ・香川県 8% (1 人)

## 業界マップアンケート結果

※赤字は学生の記述回答

### ○参加学年

- ・1年生 45%(5人)
- ・2年生 36%(4人)
- ・3年生 9%(1人)
- ・4年生 9%(1人)

### ○愛媛のことは「好き」か

- ・大好き 36%(4人)
- ・まあまあ好き 64%(7人)

### ○フィールドワークには満足したか

- ・満足 64%(7人)
- ・ほぼ満足 36%(4人)

### ○「県内企業のイメージ」は変わったか

- ・すごく良いイメージに変わった 27%(3人)
  - ・県外出身で愛媛のことに詳しくなく、企業も知らなかったが、調べた一般機械業界だけでも企業は多いことはもちろん、愛媛に本社がある会社がこんなにも多いことに驚いた。
  - ・隠れたすごい技術を持つ会社を教えてもらい、そんな会社があるのかととても驚いた。
  - ・知らない企業を沢山知ることが出来た。
- ・少し良いイメージに変わった 64%(7人)
  - ・NASAのロケットに使われた部品が愛媛県で作られていることに凄いなと思った。
  - ・それぞれの業界ごとの特徴や分布の様子を知ることができ、愛媛にもいろんな企業があるのだと知ることができた。
  - ・愛媛県内様々な企業があり、またそれらの企業の売上が規模の割に大きいと感じた点。
- ・変わらない 9%(1人)
  - ・ITに関しては規模が小さい企業が沢山集まっているというイメージになりました。

○フィールドワーク以外に参加したい内容

- ・インターンシップのような企業訪問 36% (4 人)
- ・社長さんとお話できる機会 18% (2 人)
- ・ロールモデル 18% (2 人)
- ・「暮らし」に関する体験・交流 27% (3 人)
- ・愛媛を伝えるための pr 撮影など

○将来にわたって、愛媛に住み続けたいか

- ・きっとそうする 18% (2 人)
- ・できればそうしたい 36% (4 人)
- ・まだ分からない 45% (5 人)
- ・広島、島根、高知

○知っている企業数に変化はあったか

- ・ある 82% (9 人)
- ・8 人 参加前の2倍以上の数の企業を知ることができた
- ・1 人 参加前の 1.5 倍の数の企業を知ることができた
- ・ない 20% (2 人)

○5 業界以上で調べてみたい企業はあるか

- ・ある 82% (8 人)
- ・食品 (3 人)
- ・農業 (2 人)
- ・人材
- ・教育
- ・船舶
- ・スポーツ
- ・金融
- ・ない 18% (2 人)

○フィールドワークの感想

- ・少人数でできるワークが、自分から率先して取り組めて良いと思った。
- ・90 分の時間で、初対面のメンバーと発表を考えることは 4 回生になった今でも難易度が高く、時間が足りなかった。しかし、制限時間内に濃い議論ができ、面白かった。
- ・90 分でのプレゼン作成は中々難しかったが、班のメンバーと協力出来てうまくいっ

たと思った。

## まとめ

- ・イベントの目的である「企業を知る」は達成できたのではないか。
  - ・参加学生の約 80%が参加前と比較し、2 倍以上の数の企業を知れた。
  - ・高い技術を持つ企業や本社が愛媛にある企業に関心を持った学生もいた。
- ・少しネガティブイメージを持った学生もいた。今後のイベントをする際にも何が学生にとってネガティブとなるかを考える必要があるのではないか。
  - ・規模が小さい企業が多い(IT業界)いった点で県内企業のイメージアップにつながらなかった。
- ・今回はプレゼン発表形式をとっていたため、「マップの作成」より「プレゼン」に気がいっている学生もいたため、今後発表の場を用意するイベントがあれば、検討すべき点となるのではないか。
- ・アンケートについて、「フィールドワークに満足したか」といった質問の満足した理由も詳しく知りたいと思った。学生がどんなところに満足感を感じているか具体的に知ることで、次回以降のイベント内容に反映させるとができるのではないか。

## 補足情報

### ○参加学生の出身地

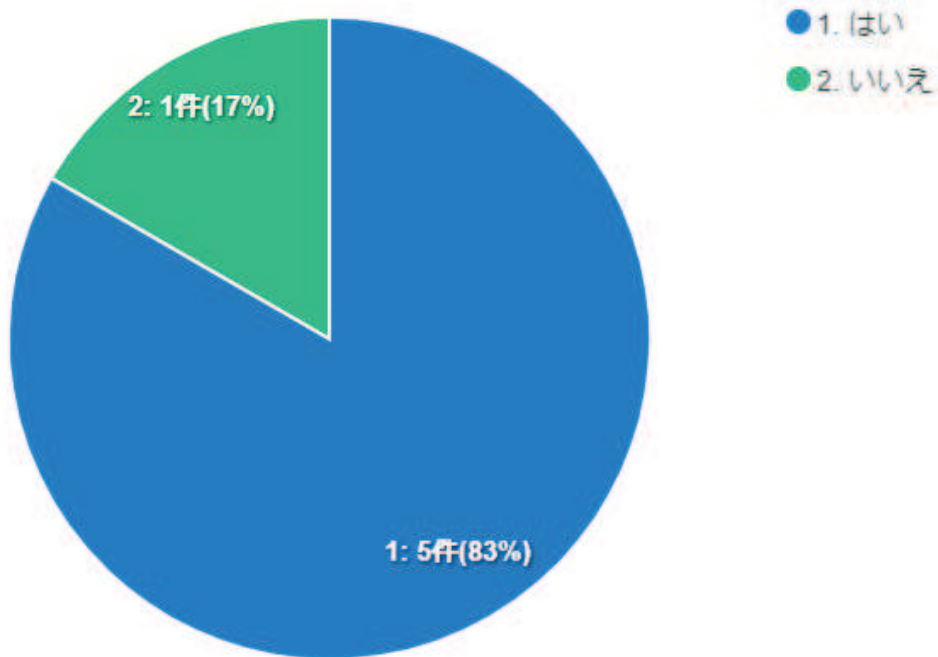
- ・愛媛県 37%(4人)
- ・広島県 27%(3人)
- ・島根県 18%(2人)
- ・高知県 9%(1人)
- ・鹿児島県 9%(1人)

- 約半分の学生が「将来にわたって愛媛に住み続けたいか」といった質問に対し、「分からない」と回答している。「分からない」と回答した学生の 8 割は県外学生である。



# 社長さんとの de 愛イベント集計結果

学生さんとの対話を通じて、社長としての視点に新たな気づきはありましたか？



回答結果としては、

「はい」と答えた社長さんが 5 人、「いいえ」と答えた社長さんが 1 人でした。

「はい」と答えた社長さんの理由としては、

- ・ 学生の率直な意見を聞くことができたから。
- ・ 愛媛への愛情を持つ学生が多く、ここで仕事することの価値を再確認することができた。

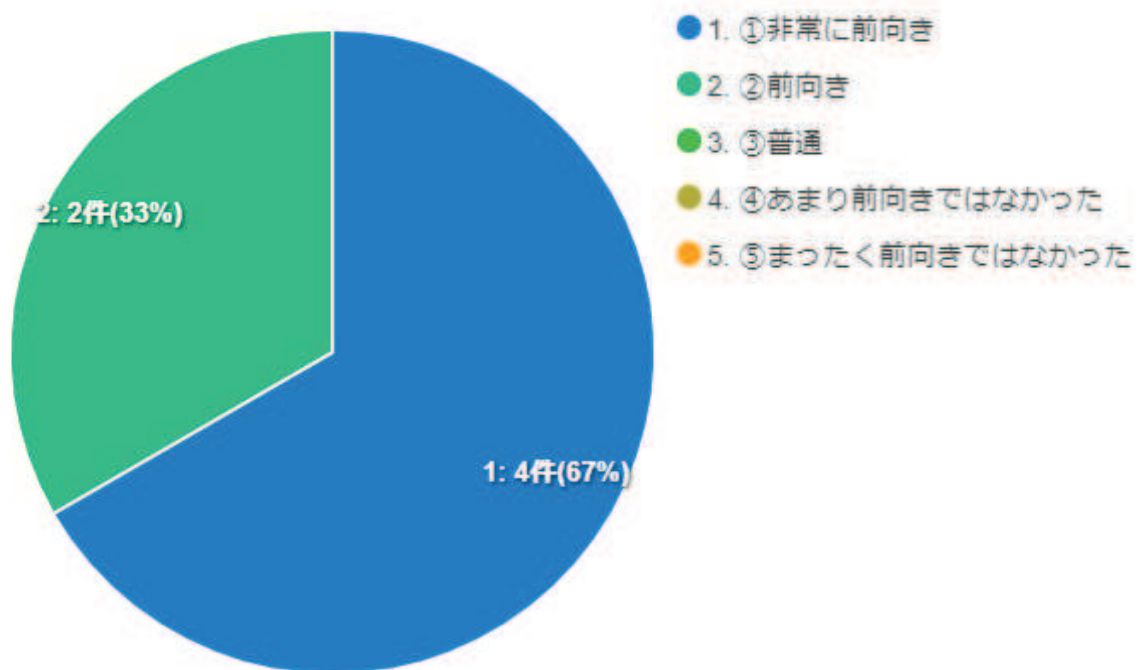
という意見がありました。

また、「いいえ」と答えた社長さんの理由としては、

- ・ こちらから話をする機会が多く、あまり学生からお話を聞くことができなかった。

という意見がありました。

学生さんは、社長さんのお話をどのように受け止めていましたか？



学生たちは、社長さんの話をどのように受け止めていましたかという質問では、4人の方が非常に前向き、2人の方が前向きと回答していただきました。

理由としては、

- ・うなずきやメモを取るなど、真剣に話を聞いてくれる学生が多かった。
- ・多くの質問をしてくれたから。

とのことでした。

社長さんから学生に向けたアドバイスはありますか？

最後に社長さんから学生に向けてアドバイスはありますか？という質問では、

- ・ 自分の時間を大切にしながらも、将来に向けて今からいろんなことを学び情報収集を頑張ってもらいたい。
- ・ とにかくいろんなことに目を向け、経験してもらいたい。
- ・ 自分の目標を達成できる会社に就職してもらいたい。

という意見がありました。

#### 【Co-e プロジェクトイベントとしての考察】

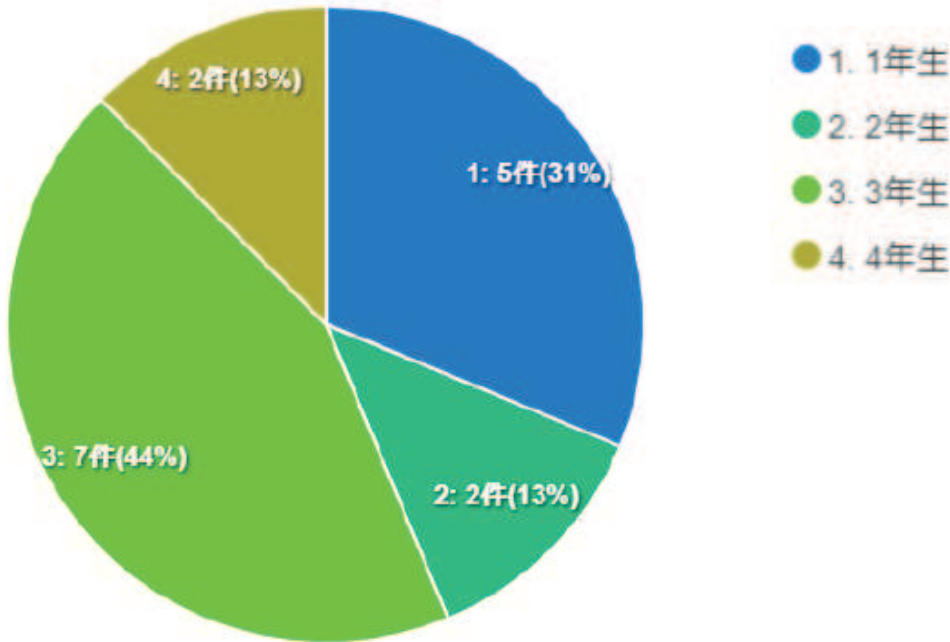
本イベントでは、社長さんと学生が直接話し合うことにより、率直な学生の考えを知るきっかけになったという意見があった反面、学生自らが主体的に話していた場面が少なく、もっと話してほしいという意見がありました。意見をしっかり持ち、自発的に行動していくことが大事であり、企業側が求めている人材ではないかと思えます。

また、社長さんから学生に向けたアドバイスでは、さまざまなことに目を向け、経験してほしいという声が多かったです。多角的な視点で物事を考えることに人材を、企業は求めているように感じます。

Co-e プロジェクトでは、今後もイベントの開催を予定しております。多くの学生が、自発的に行動することで、将来に向けたきっかけになれば幸いです。

# 企業探検隊イベントアンケート集計結果

あなたの学年を教えてください。



参加してくれた学生の学年は、

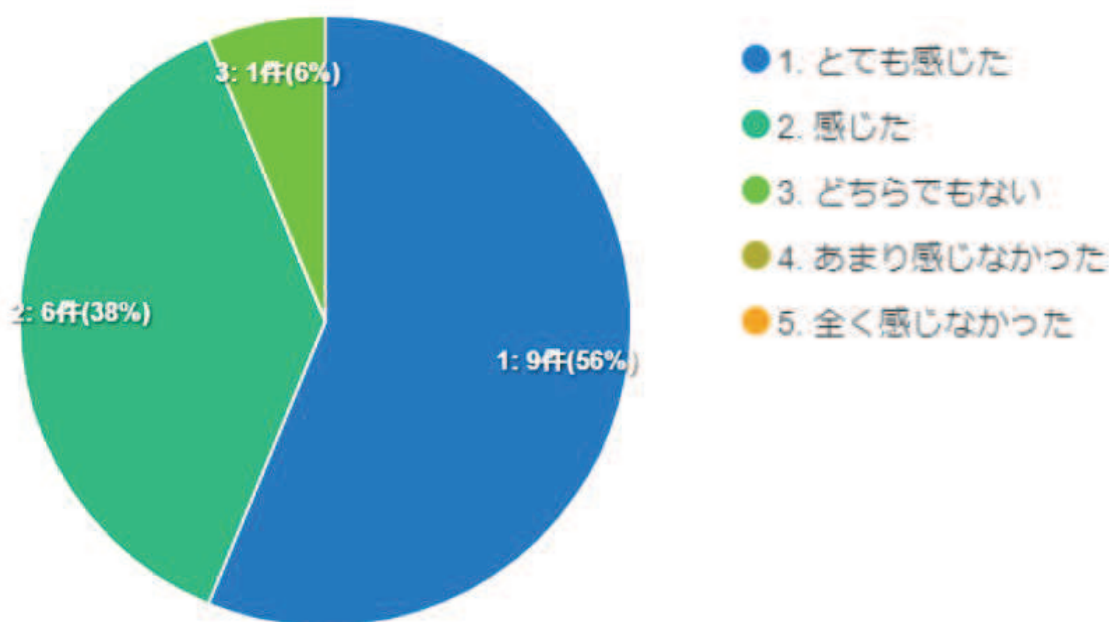
- ・1年生 5人
- ・2年生 2人
- ・3年生 7人
- ・4年生 2人 でした。

## 【Co-e プロジェクトチームの考察】

今回のイベントでは、大学1,2年生をターゲットに募集をしましたが、1,2年生は全体の4割程度となりました。今回の参加者は、1,3年生が多く、大学入学後のいろいろなことに興味がある1年生と、就活を目前として就活への意識が向いている3年生が多かったように思います。目標人数としては、30人を掲げており、目標には届かず今後の課題となりましたが、その分、学生一人一人が企業での体験内容はより濃いものとなったと考えます。そのため、参加していただいた学生に今回のイベントに満足いただけたか、満足、ほぼ満足、どちらでもない、やや不満、不満の5択で確認したところ、学生の回答として、「満足」「ほぼ満足」が94%となりました。



## 探検した企業に魅力を感じましたか？



「とても感じた」「感じた」と回答した学生が9割を占めました。

探検した企業について、探検前とどのように印象が変わったか聞いたところ、

- ・ 仕事内容は補充や接客だと思っていたが、商品開発もしていたことが分かった。
- ・ 最初はお堅いイメージだったが、社内の雰囲気や働き方の柔軟さからオープンなイメージが変わった。
- ・ 名前だけ聞いたことある会社だったが、オフィスがワンフロア式で、社員全員が意見を出し合って商品開発をしており、会社と分かった。
- ・ 難しいかなあっと思っていましたが自由な社風でとても社長さんがいい人でした！

という意見がありました。

### 【Co-e プロジェクトチームの考察】

今回参加したほとんどの学生が、探検した企業の魅力を感じることができたのは、各企業のみなさまにご協力いただいたおかげだと思っています。今回のイベントの目的は、県内企業を知ってもらうということも目的の1つです。今回参加した学生は、このイベントで知ることができた魅力ある県内企業について、県内企業で就職することを考えるきっかけになると考えています。

### 【株式会社イープレス】

株式会社イープレスを探検した学生に探検前とどのように印象が変わったか聞いたところ、

・広告業についてよく分からなかったため、今回、企業で話を聞いたり、体験したりする中で、会社内での繋がりを強く感じられた。

・探検前は難しそうだなというイメージでしたが、探検後は深く考えているということがわかりました。

・難しいかなあっと思っていましたけど自由な社風でとても社長さんがいい人でした！

という意見がありました。

学生が持つ一般的な社長のイメージとしては、お堅い人というイメージが多く、最初学生が緊張していたのは、イメージ先行になっているためだと感じました。ミニゲームや対話を通じて交流することで、イベント後には、明るいイメージなどポジティブな印象に変化し、身近な存在に感じられるようになったのではないかと思います。

### 【南海放送株式会社】

南海放送株式会社を探検した学生に探検前とどのように印象が変わったか聞いたところ、

・思っていたよりもコンパクトな会社で、社員数も少ないという印象が変わった。

・固いイメージだったけど、社内の雰囲気もアットホームでよかったです。

・自由だなと思った！ガラリと変わった！

### 【キスケ株式会社】

キスケ株式会社を探検した学生に探検前とどのように印象が変わったか聞いたところ、

・探検まえは接客ど事務くらいだと思っていたけれど、開発もしていた

・エンタメ系の会社で、仕事内容は補充や接客だと思っていた

・地域に根付いたまた、地域の人々の幸せを考えている素晴らしい企業さんであると感じました。

・企画立案がしやすい雰囲気を感じることができた

### 【サイボウズ株式会社】

サイボウズ株式会社を探検した学生に探検前とどのように印象が変わったか聞いたところ、

・IT企業ということもあり、最初はお堅いイメージだった。しかし、社内の雰囲気

や働き方の柔軟さからオープンなイメージに変わりました。

・ほぼ変わらず良いとこなんだなって思いました。

・IT企業なので、難しそう、固そうというイメージがあったが、多様性があり一人一人に寄り添った会社だなと感じた。

#### 【山陽物産株式会社】

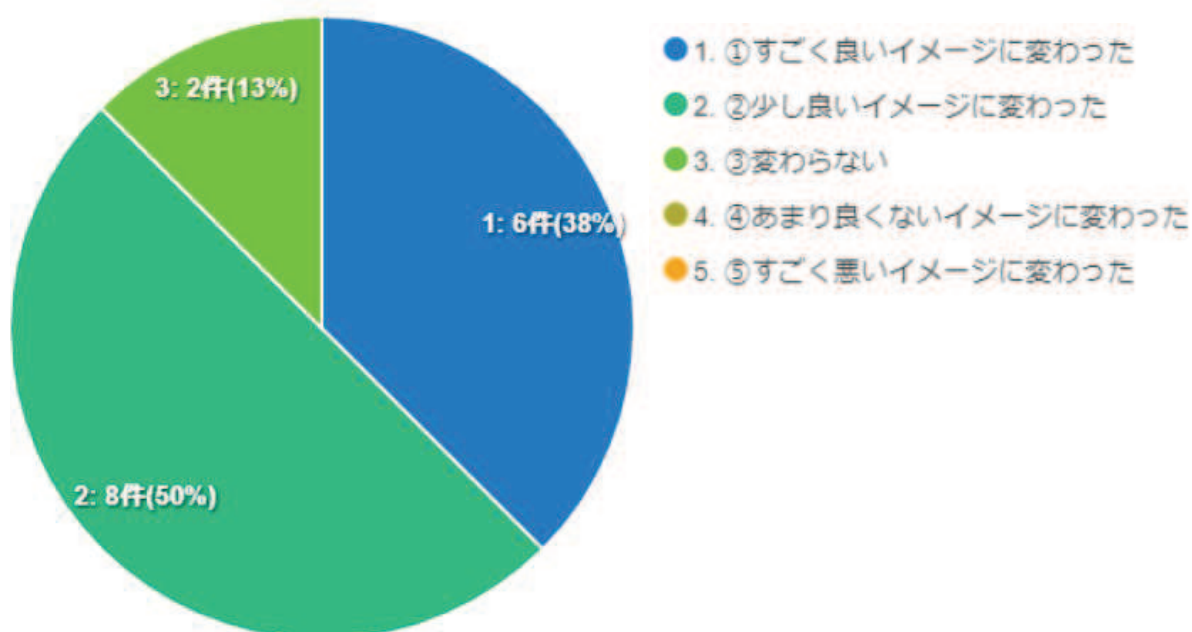
山陽物産株式会社を探検した学生に探検前とどのように印象が変わったか聞いたところ、

・愛媛県を代表するものづくり企業ということが分かって、愛媛が誇る素晴らしい会社だということがわかりました。

・名前だけ聞いたことある会社だったのですが、オフィスがワンフロア式で部ごとに分けて、みんなで商品開発するみんなの意見を取り入れることで新たなより良い商品ができるという楽しくアットホームな会社とわかりためになりました。

・探検前はなんの物産を作っていることかわからなかったが、探検後はホテルの消耗品を作っている会社だと分かった。社内の雰囲気も和やかそうだった

本日のイベントを経験して、「県内企業のイメージ」は変わりましたか？



本イベントを通じて、「県内企業のイメージは変わりましたか」という質問では、良いイメージに変わったと答えた学生が8割を超えました。

具体的にどのようにイメージが変わったか聞いたところ、

- ・愛媛でも様々な職種があることを感じた。
- ・働き方の多様性を尊重する良い会社が多いことが分かった。
- ・働き方改革に取り組んでいる企業が多いことがわかり、就職意欲が上がった。

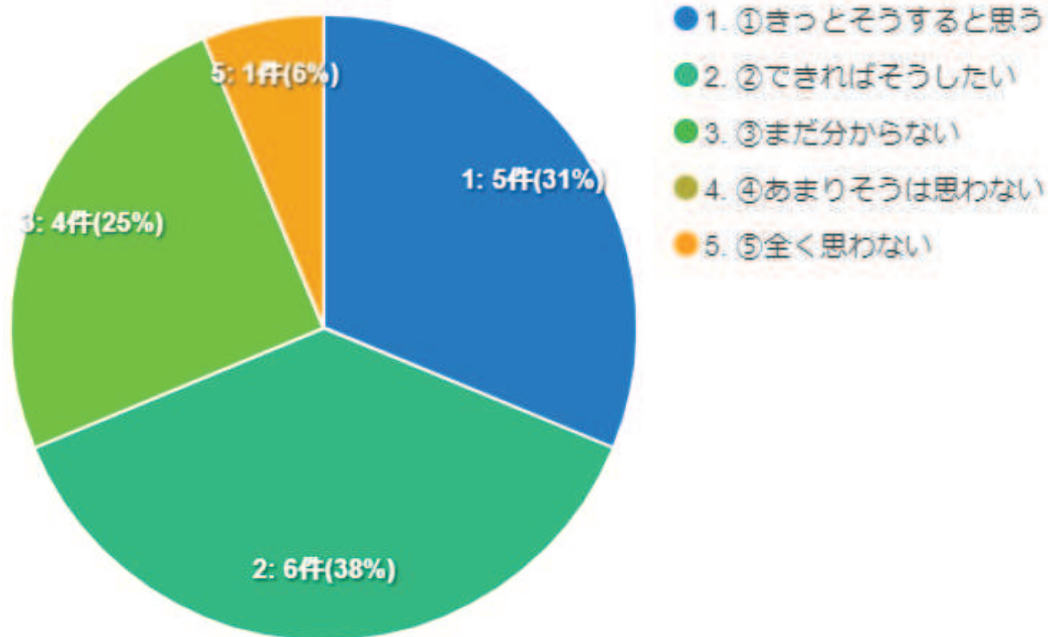
などという意見がありました。

#### 【Co-e プロジェクトチームの考察】

良いイメージに変わった学生が多くいた中で、今回感じたのは、県内企業の魅力を知らなかった学生が多いということです。今回のイベントのように、知るきっかけがあれば県内企業の魅力が伝わり、県内での就職が一つの選択肢になりうると感じました。



将来にわたって、愛媛に住み続けたいですか？



そうしたいと思っている学生が7割近い結果になりました。反対に、そうは思わないと答えた学生は、1人いました。

理由としては、

・東京に住むという夢を小6から持っているため、就活を機に叶えたい。

という理由でした。

#### 【Co-e プロジェクトチームの考察】

今回のイベントは、大学1,2年生に、将来、県内就職を一つの選択肢としてもらうことを目的とし開催しましたが、現段階では、参加した学生の25%（4人）が「まだ分からない」と回答しています。今回参加した学生以外でも、魅力ある県内企業を知らない学生が大半であると考えており、今後、この層を「きっと愛媛に住み続けると思う」というところまで意識を変えられるよう、県内企業の魅力を伝える取り組みが必要であると考えております。



Cce

愛媛県中予地方局